

# 駒沢オリンピック公園総合運動場

## 指定管理者審査 提案書類（事業計画書）

団体名 公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ

所在地 東京都新宿区荒木町13-4  
公益財団法人東京都スポーツ文化事業団内

代表者名 公益財団法人東京都スポーツ文化事業団  
理事長 並木一夫

## 提案課題 1 [管理運営の基本方針]

### 東京都を代表する総合スポーツ施設として 『スポーツ都市東京』の実現に貢献します

- 東京都の監理団体、民間、レクリエーションの統括団体が三位一体となり、1964 年のレガシーを受け継いで 2020 年以降も東京都を代表する総合スポーツ施設として、安定した管理運営を実施します。
- 公園の自然豊かな環境の中でスポーツに触れるこことできる場所として、その魅力向上に寄与します。
- 「東京都スポーツ推進総合計画」等に基づき、最新の動向を踏まえつつ多様な角度から事業展開を図ることにより、スポーツ実施率の向上に寄与します。

#### 基本方針 ①

##### 心からスポーツを楽しめる場に — スポーツの力で人と地域が活性化

- 駒沢オリンピック公園総合運動場（以下「本施設」という。）の運営にあたっては、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「東京 2020 大会」という。）を視野に、これまでの経験と知識を活用し、駒沢のブランド力をさらに向上させ、**全国レベルの大規模大会を誘致**します。また、海外からの需要に応えるため、必要な整備を行っていきます。
- 東京 2020 大会を控え、**スポーツ施設需要の増加に対応**するため、稼働率が高い中においても、これまで築き上げた競技団体等との信頼関係や豊富な経験を生かし、柔軟できめ細やかな日程調整を行います。
- 東京 2020 大会後はスポーツ施設の供給が増加することも見据え、選手達のあこがれの“アマチュアスポーツの聖地”となるべく、質の高い施設運営とサービスの提供により、駒沢のステータスを向上していきます。



#### 基本方針 ②

##### 誰もがスポーツや健康増進に取り組むことができる場に — ユニバーサル社会の実現

- 障害の有無や年齢・性別・国籍を問わず、スポーツを楽しめる施設として、**ユニバーサルな視点**で公園からの動線など施設を改善し、バリアフリーの整備を進めます。
- 障害者スポーツの利用促進を行うとともに、レクリエーション団体と連携して、誰もが参加しやすいニュースポーツや女性のスポーツ参加の支援などターゲットを明確にした事業を展開し、スポーツ実施率の向上に貢献します。
- レクリエーション団体のほか、スポーツ関係団体、大学等との連携協力により、ここに集まる全ての人がスポーツに親しめる、都民のスポーツ活動の拠点として**賑わいのあるスポーツ空間を形成**します。



#### 基本方針 ③

##### 快適な利用のために — 知識・経験を生かした安全・安心の徹底

- 所長をはじめ（公財）東京都公園協会（以下「公園協会」という。）を含む各部門スタッフで構成される**安全パトロール**を実施し、問題箇所の早期発見、即時対応を実施することで、快適な利用を実現します。
- 老朽化した施設・設備などで事故につながりうる事象を細部まで点検するとともに、競技のルールや用具の使用形態、芝の管理に精通した**それぞれの専門家**が、トラブルを最小限に抑えるための予防・事前措置をきめ細かく実施していきます。
- 本施設の建物と機械・電気設備に精通した専門家集団にのみ可能な緊急修繕を行うほか、長期的視点に立った**計画的な施設維持管理**を実施します。



## 提案課題 1 [管理運営の基本方針]

### 運営方針

#### 1 安全・安心な管理運営

- 施設を熟知したスタッフの知見を生かし、日常点検に加え、月1回の「安全パトロール」により、各施設の問題箇所を発見し、緊急対応の後、必要に応じ東京都への補修要望を行います。
- 備品リストの作成、競技に応じた必要な消耗品や備品の購入、利用前後の用具・競技設備の点検を着実に実施します。特に大規模大会では、万全な準備が重要であり、都立スポーツ施設の運営を通じて培ってきた施設管理のノウハウを生かし、利用しやすい環境を整備します。
- 本施設は老朽化が進行しているため、これまで他のスポーツ施設で起きた事故等も参考に、床のさくられのチェックなどきめの細かい点検作業を実施し、リスクを厳しく評価し、早めの補修、部品交換等の対応を行います。

#### 2 危機管理対策

- 様々な災害やテロなどのリスクに対応するため、「緊急時対応マニュアル」を活用し、スタッフの訓練を通じ、災害等の対応力の向上を図ります。また、地元区、消防、警察等との日常の緊密な連携を生かし、発災時に適切な対応を行います。
- 駒沢は立地上非常に強い風雨に見舞われることが多いことから、「ハザードマップ」の作成や荒天時の「対応マニュアル」による、水害・強風・雷対策を迅速かつ的確に実施します。
- また、降雪時の再開の準備、メリケントキン草など利用者の怪我につながる雑草のいち早い駆除、熱中症やインフルエンザ、Jアラートや光化学スモッグなどの注意喚起を徹底します。

#### 3 スポーツを身近にする場の確保

- 全国高等学校サッカー選手権大会やパラ駅伝 in TOKYO などの集客力の高い大規模大会に加え、ホッケー日本リーグやボルダリングジャパンカップなど2020年に向け今後盛り上がる競技を積極的に誘致するとともに、都民のスポーツを「みる」機会を創出します。
- 東京都による修繕工事のほか、保守点検、緊急修繕等について、予約状況を勘案して、最も有効な施設利用が可能となるよう調整し、都民が施設を利用できる時間をより多く設定します。
- 個人使用施設やスポーツ事業において、都民が参加しやすく快適な環境づくりを進めます。

#### 4 地域と連携した事業と収益の向上

- 周辺自治体、近隣小・中・高等学校、大学、地域のスポーツクラブやレクリエーション団体など、これまで培ってきたネットワークを生かし、事業の参加率向上及び地域の活性化を図ります。
- 個人使用施設や利用者サービス事業において、収入の増加に努め、収益は事務・サービス改善、スポーツ事業の実施等、利用者に還元していきます。

#### 5 環境や景観に配慮した親しまれる施設運営

- 施設運営にあたっては、都立公園のルールを理解し、調整を図りつつ、公園と調和した事業を展開するほか、看板や案内板等を工夫し、利用しやすい環境づくりを実施していきます。
- 省エネルギー・マネジメントを徹底することにより、光熱水費等のコストを縮減し、収益の確保に努め、環境対策にも積極的に取り組みます。

#### 6 施設のサービス・魅力向上に向けた不断の事務改善

- ご意見箱並びにスタッフによる日々のヒアリングを通じ、利用者からの意見・要望を的確に捉え、継続的な業務改善に取り組んでいきます。また、意見に対する回答を施設に掲示し、透明性のあるサービス改善を行うとともに、PDCAサイクルに基づく事務改善を行います。

#### 7 大規模改修対応並びに公益法人としての指定管理者の実績

- 東京都施工の大規模改修工事に対して、競技団体の意見や周辺住民の声、また安全な施設利用の視点から意見交換し、より良い施設改修に協力します。
- また、公益法人として、予算の効率的執行・収益の活用により、長期的な視野に立った保全のための修繕、臨時保守点検等をこれまで同様に実施していきます。

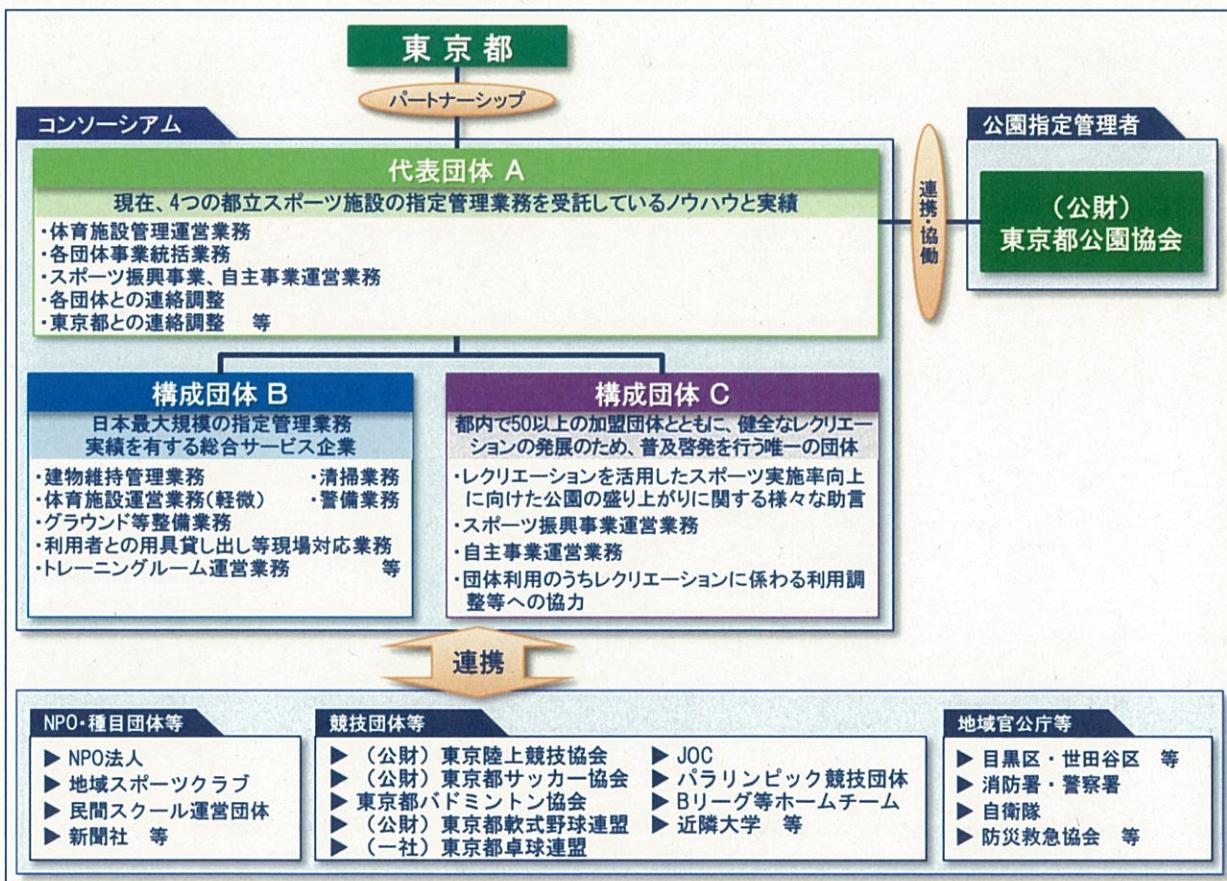
## 提案課題 1 [管理運営の基本方針]

### ▶ 業務全体にかかる履行体制

#### ■ スポーツ施設の運営を熟知したグループ

～これまでの実績をもとに、充実したサービスを提供～

- ・当グループの代表団体（以下、「代表団体 A」という。）は、他の都立スポーツ施設において、公共セクター、民間セクター、その他 NPO 法人やスポーツ団体と公民協働の力を發揮するコンソーシアム形態を構築してきました。本施設の公募においても、これまでと同様の安定的な運営体制に加え、民間等のノウハウを活用することで、より迅速かつ高次元のサービスを提供できることから、**コンソーシアム形態による提案**をさせていただきます。
- ・都立スポーツ施設の指定管理実績を有する代表団体 A のもと、指定管理業務実績を豊富に有する企業（以下「構成団体 B」という。）、東京都のレクリエーションを統括する団体（以下「構成団体 C」という。）の 3 者がコンソーシアムを構成します。
- ・構成団体 B は、これまでの施設管理のほか各施設のコンディション管理、トレーニングルームで利用者の拡大を図ってきたノウハウを生かした運営を可能とします。また、構成団体 C は専門的な知識、経験とノウハウを有する NPO 法人や種目団体等と連携し、**より充実した事業**を提供します。



本施設管理運営の事業スキーム

#### ■ 公園協会との連携協力による質の高いサービス提供

- ・平成 18 年度から平成 25 年度まで本施設と公園を一体的に管理した経験を基に、利用者目線に立って質の高いサービスを実施します。
- ・東京都の重要な防災拠点として、危機管理体制を構築します。
- ・スポーツ公園としての賑わいと魅力を互いの連携強化による**相乗効果**で高めていきます。

#### ■ 他の都立スポーツ施設との連携

- ・他の都立スポーツ施設との情報の共有と、施設利用状況に応じた利用調整のほか、共同の事業実施など施設間連携を実施していきます。

## 提案課題 2 [施設の提供、運営に関する業務]

### 1 施設の提供

#### (1) 施設提供の実施方針

##### 施設提供を通じて「スポーツ都市東京」の実現に貢献します

- 本施設の設置目的・役割を踏まえ、「東京都スポーツ推進総合計画」に沿った施設の提供を行います。
- 専用使用施設にあたっては、都民に夢と感動を与える多様なスポーツ競技大会を開催していきます。
- 個人使用施設にあたっては、身近なスポーツの場として、スポーツの習慣化に貢献します。
- 全ての利用者が安全・安心・快適に利用できる施設環境を提供します。

#### 1 専用使用施設における施設提供

##### ■ 基本的な方針

###### (1) 東京都のスポーツ推進施策に沿った施設の提供

- ・本施設の設置目的、総合スポーツ施設としての位置付けを踏まえ、「東京都スポーツ推進総合計画」に沿った施設の提供を行い、都民を中心とした幅広い人々のスポーツ推進を図ります。

###### (2) 質の高い多様なスポーツ競技大会を開催

- ・国際大会や全国大会など、都民を中心に全国から観客を得ることのできる質の高い多様な大会を開催していきます。
- ・都民に夢と感動を与える魅力的な大会の観戦を通じて、スポーツへの興味・関心を喚起し、スポーツに親しむきっかけづくりにつなげ、スポーツ実施率の向上に貢献していきます。

###### (3) 安全・安心・快適な施設環境の提供

- ・利用者の安全安心を最優先とし、設備・備品等の適切な保守・点検、スタッフによる巡回や温かい接遇を通じて、快適なスポーツ環境づくりに努めます。

##### 専用使用施設の提供のポイント

- 東京都スポーツ推進総合計画の施策に沿った施設提供
- 設置目的に即した質の高い大会を開催
- スポーツへの興味・関心を促進
- 安全・安心・快適な施設環境を整備

#### 「スポーツ都市東京」の実現に貢献

##### 施設提供における当グループの強み

- 1 施設ごとの特色を熟知した適切で効果的な施設提供
- 2 豊富な経験や競技団体等との信頼関係を生かした利用調整
- 3 本施設や他の管理施設で培った高度な維持管理水平

##### ■ 施設ごとの方針

###### (1) 陸上競技場

- ・都内陸上競技場の改修を踏まえ、可能な限り陸上競技大会を当競技場で受け入れます。
- ・また、天然芝の使用については、長年の管理運営ノウハウを活用し、芝の保護・育成とボールゲーム等との使用バランスに配慮して、一層のスポーツの普及振興に向けて施設を提供していきます。

###### (2) 体育館、屋内球技場

- ・都内体育館の改修により、当施設への利用希望が集中していることから、より多くかつ多様な大会等を開催できるよう調整します。また、各施設の収容人数等を考慮し、催物の内容や規模に合わせた利用施設となるよう調整し、スポーツの普及振興に向けて施設を提供していきます。

###### (3) 第一球技場

- ・砂入り人工芝（ショートパイル）、防矢ネットを有する施設の特性を踏まえ、ホッケー、ラクロス、アーチェリー等の利用を中心としつつ、当球技場に適した競技種目となるよう調整し、施設を提供していきます。

###### (4) 第二球技場、補助競技場

- ・ゴムチップ入り人工芝であることを踏まえ、サッカー、ラグビー、アメリカンフットボールなど、球技系スポーツを中心として当施設に適した競技種目、利用内容を踏まえ施設を提供していきます。また、補助競技場は、陸上競技場の利用を補完（ウォーミングアップ等の場）する役割も担っていけるよう利用調整していきます。

## 提案課題 2 [施設の提供、運営に関する業務]

### 1 施設の提供

#### (5) テニスコート

- ・テニス、ソフトテニスでの利用とし、友人等のグループでの練習や試合と、大会とのバランスを図り、テニスの普及振興に向けて施設を提供していきます。

#### (6) 硬式野球場

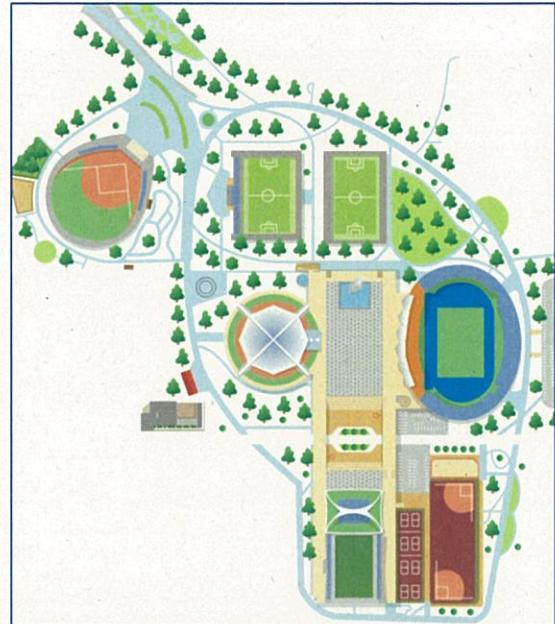
- ・硬式、軟式野球、ソフトボールの利用とし、チームでの練習や試合など、各競技の普及振興に向けて施設を提供していきます。

#### (7) 軟式野球場

- ・軟式野球、ソフトボールの利用とし、チームでの練習や試合など、両競技種目の普及振興に向けて施設を提供していきます。
- ・防球ネット等の施設状況を踏まえ、片面は少年野球、ソフトボール専用とし安全面に配慮していきます。

#### (8) 弓道場

- ・弓道、アーチェリーの利用とし、両競技種目の普及振興に向けて施設を提供していきます。



10 施設の特色を把握した管理運営

### ■ 利用の調整について

#### (1) 蓄積したノウハウと経験を生かした利用調整

- ・本施設は、優先受付での利用希望日は、土日祝日など休日に集中しており、貸出調整にあたっては、きめ細やかな対応と、知識、高度な調整能力が必要となります。
- ・代表団体 A に蓄積したノウハウをはじめ、競技団体等とのネットワークや信頼関係を生かした利用調整により、質の高い、魅力的な大会を実現していきます。

大会名称	競技種目
東京国際ユース (U-14) サッカー大会	サッカー
ジュニアスポーツアジア交流大会	バドミントン・卓球
フェンシングワールドカップ東京大会	フェンシング
2016 Masters World Cup	ウェイトリフティング
日本 GP TOKYO Combined Events Meet 兼 世界陸上競技選手権大会代表選手選考競技会	陸上競技
日本パラ陸上競技選手権大会	陸上競技
パラ駅伝 in TOKYO	陸上競技
全日本総合バドミントン選手権大会	バドミントン
全日本レスリング選手権大会	レスリング
スポーツクライミング ボルダリングジャパンカップ	スポーツクライミング
全日本フットサル選手権大会	フットサル
全国高等学校サッカー選手権大会	サッカー
ホッケー日本リーグ	ホッケー

近年の主な大規模競技大会の実績

#### (2) 公共性を確保しつつ多様なスポーツ競技大会を開催

- ・国内の代表的なスポーツ競技団体が、国際大会や全国大会などの主要な大会を本施設で開催できるよう、公益性や大会規模、競技種目のバランス等に配慮した適切な利用調整を行います。

#### (3) 専任スタッフの配置と大会誘致戦略の明確化

- ・本施設は、様々な競技種目の大規模大会、複数の施設を利用した複合的な大会などが開催可能な優れた設備と観客収容能力を有しています。
- ・この特徴を最大限に活用するため、大規模大会の利用における豊富な運営サポート経験を有する者が、営業を担当するスタッフを専任し、競技団体やイベントプロモーション企業等と連携して戦略的に大規模大会の誘致を図ります。

## 提案課題 2 [施設の提供、運営に関する業務]

### 1 施設の提供

#### (4) 稼働率向上に向けた取組

- 施設の空き状況については、ホームページなどで積極的に情報を発信し、利用を促進します。
- 直前割引制度や第二球技場等の半面貸出を引き続き実施し、施設の有効活用を図ります。

	体育館	第二 球技場	補助 競技場
H29 年度	96.2%	97.8%	99.2%
H28 年度	98.2%	97.7%	97.8%
H27 年度	97.8%	98.0%	97.9%

高い稼働率を確保(本施設主要 3 施設)

#### ■ 競技大会等の成功に向けた具体的な運営サポート

- 当グループでは、単に施設の貸し出しを行うだけではなく、主催者の「パートナー」として親身な対応を行います。
- 競技大会等を成功に導くため、知識や経験を豊富に有するサービス業務担当者と設備業務担当者など、グループを挙げて、全力でサポートします。
- 主催者の様々な要望に応えるため、疑問や不安が解消されるまで、頻繁な打合せ機会の提供や問合せ対応を実施します。また、専任スタッフによる主催者との担当窓口を一本化することで、問合せや要望情報の一元化、迅速な対応等を可能とし、**主催者との密な連携体制**や高い信頼関係を構築します。
- 競技大会等の当日では、主催者と緊密な連携やコミュニケーションを図り、安全・安心・快適・円滑な運営と観覧動線などの施設利用を全力でサポートします。



専任スタッフにより  
競技大会等の成功をサポート

#### < 利用当日までのフローとサポート概要 >

##### 利用相談

- 利用希望日・競技大会等内容・演出や展開など、利用に関する様々な相談に無料対応
- 大まかな利用料金の見積書の作成や施設見学など、主催者の要望に沿って個別に対応

##### 申込後の 団体対応

- 競技大会等内容に合わせた涉外担当窓口を選任し、密に連絡・連携が取れる窓口体制を構築
- 本施設の管理運営経験を活用し、相談内容に応じた適切なアドバイスを実施
- 動線や控室の利用方法、保有備品及び施設の説明など、細かな相談に応じた下打ち合わせや、施設・備品等の見学を実施
- 各種動線及び警備計画、搬入出経路、安全対策等の利用詳細を事前に確認し、初めて利用する主催者でも安心して計画を進められるように各種法令に準じたアドバイスを実施

##### 事前 打合せ (開催1ヵ月から 2週間前)

- 競技大会等の本番に向けて主催者及び設営業者など全ての関係者を交えて、利用内容の最終打合せや災害等緊急時における対応方法の案内を実施
- 公園協会と連携の上、公園内通行車両の搬入出計画へのアドバイスを実施
- 照明・音響・電源や主催者による持込機器などテクニカル部分については、個別打合せも実施
- 本施設の所轄消防署や警察署への必要書類の作成を支援

##### 現場 最終確認 (当日)

- 競技大会等を円滑に進めるため、施設担当者と主催者との連絡・連携体制を再確認
- 設営・本番・練習・リハーサル・撤去における現場での最終確認や各種法令を遵守した指摘やアドバイスを実施
  - 床面や壁面の養生確認
  - 来場者の屋内及び屋外の動線確認、物品販売等による周辺動線の確認
  - 急救などの緊急時対応の確認
  - 吊物やステージ等仮設物の確認
  - 客席の設置、避難誘導経路の確認 等
- 所轄消防署等による禁止行為や避難経路など各種査察への対応
- 当日における変更点などへの臨機応変な対応
- 以下については、使用方法等を熟知した本施設担当者が実施又はサポートします ●
  - バスケットゴールや防矢ネット、ラグビーゴールの設置
  - バトンの昇降操作の実施
  - 電光得点盤、大型映像装置の操作方法サポート
  - 音響・放送設備の操作方法サポート

## 提案課題 2 [施設の提供、運営に関する業務]

### 1 施設の提供

#### ■ 競技大会等運営における特殊な対応への各種アドバイスとサポート

##### (1) VIP (皇室・政府関係者・各国大使等) への対応

- これまでの実績や経験を踏まえ、主催者に対して動線計画や警備計画、その他対応方法についてアドバイスを実施するほか、**主催者・東京都・各関係機関と連携を図り、万全な警備体制を構築します。**

##### (2) 国際競技団体によるインスペクションへの対応

- 国際規模の競技大会で実施される各国際競技連盟等のインスペクションに際して、当グループは長年の管理運営ノウハウを活用し、主催者に対し、最大限の協力をいたします。

##### (3) 競技大会等開催における近隣住民への対応

- 大勢の来場者が見込まれる競技大会等においては、最寄り駅から本施設までの来場者動線・滞留や駐車場の待機車両、屋外施設利用時の騒音など、**近隣住民への配慮が必要不可欠です。**
- 主催者への近隣対策に関する助言や所轄警察署・地元自治体との連携など、地域に配慮し、経験とノウハウを活用した、円滑に運営を進める上での必要な支援を行います。

## 2 個人使用施設における施設提供

#### ■ 施設提供の方針

##### (1) 身近なスポーツの場としての施設の提供

- トレーニングルーム等の個人使用施設では、スポーツに親しみ、身近にスポーツを実践できる場として、快適な施設運営を行い、スポーツ実施率の向上に貢献します。

##### (2) 安全・安心・快適な施設環境の提供

- 利用者の安全確保を最優先とし、設備・備品等の適切な保守・点検、スタッフによる巡回や温かい接遇を通じて、安心で快適なスポーツ環境づくりに努めます。

#### ■ トレーニングルームの運営

- 幅広い世代が、それぞれの目的やレベルに応じたトレーニングができるよう、これまでの管理運営ノウハウを最大限発揮して、トレーニングルームを運営します。
- ニーズに合ったトレーニング機器の提供など、質の高いサービスを提供し、さらなる利用者の拡大を図ります。

#### < 始める、継続するための取組み >

- 利用者の目的・レベルに合ったトレーニング方法のアドバイスをするほか、初心者の方にはトレーニング機器の使用方法を説明します。
- 機器でのトレーニングとの相乗効果を図りたい方や、運動習慣が少ない方でも気軽に参加できる「グループエクササイズ」を実施し、多様なスポーツニーズに応えていきます。
- 従来からの予約制で行う運動メニューの作成に加え、障害者にも対応できるトレーニング相談窓口を開設し、様々な人々のスポーツの実践、継続を親身にサポートしていきます。

#### ■ 弓道場の個人使用

- 専用使用に空きがある場合に、個人使用として開放し、弓道、アーチェリーの稽古・練習に利用していただきます。

#### < 利用可能日の情報発信 >

- 個人使用ができる時間帯については、利用可能日時等をホームページに掲載するとともに、施設内に掲示することで周知していきます。

#### 個人使用施設の提供のポイント

身近なスポーツの場として施設提供

安全・安心・快適な施設環境を整備

さらなる利用者の獲得と定着化

トレーニングルーム 利用者数実績



弓道場の個人使用

## 提案課題 2 [施設の提供、運営に関する業務]

### 1 施設の提供

#### (2) 休館日及び開場時間

##### 利用者ニーズを踏まえた弾力的な休館日・開場時間を設定します

- 条例を原則としながらも、大会などの利用希望を踏まえて、休館日を設定します。
- 利用団体からの要望に基づき、年末年始の開館にも柔軟に対応します。
- 大会での利用時間や、個人使用の利用時間を延長し、利用者ニーズに対応していきます。

#### 1 休館日設定の考え方

##### ■ 条例や施設運営を踏まえた休館日の設定

- ・原則として東京都体育施設条例施行規則に基づき休館日を設定します。
- ・ただし、専用使用施設では、大規模大会やイベント等の利用希望を総合的に勘案し、東京都と事前協議の上で、柔軟な休館日スケジュールを設定していきます。
- ・施設設備の保守・点検、芝の保護・育成など、施設として必要な休館日を確保しながらもメンテナンス日を少なくし、施設提供の幅を広げていきます。

##### 休館日の設定(例月)

- ・毎月第3月曜日(休日の場合はその翌日)を原則とし、利用希望の状況などにより設定
- ・電気設備・ボイラー等の保守・点検などメンテナンスに必要な休館を考慮して設定

##### ■ 専用使用施設では、年末年始の利用にも柔軟に対応

- ・本施設では、長年にわたって年末年始に全国高等学校サッカー選手権大会などが開催されています。
- ・その現状を踏まえ、年末年始に利用を希望する大規模大会の要望に応え、施設を提供することで、都立スポーツ施設としてのステータスアップにつなげていきます。

(H29 年度実績：12月 28～31 日、1月 2～3 日大会実施)

##### 年末年始の休館日設定

- 専用使用  
大規模大会の利用要望に応え  
柔軟に対応
- 個人使用  
12月31日～1月2日

##### ■ 個人使用施設では、最小限の休館日で利用者ニーズに対応

- ・年末年始の休館日を最小限に設定（12月 31 日～1月 2 日）

するなど、利用者ニーズに対応をしていきます。

#### 2 開場時間設定の考え方

##### ■ 専用使用施設の利用時間延長

- ・大規模大会時には、大掛かりな会場の設営・撤去作業等が必要な場合があります。そのような団体からの要望があった際には、近隣の住宅や医療施設への影響を考慮の上、利用時間の繰上・延長など、利用者ニーズに柔軟に対応していきます。

##### ■ 個人使用施設の利用時間延長

- ・トレーニングルームの開場時間については、土日祝日における公園ジョギングコース利用者のランニングステーション機能としても活用できるよう開場時間の繰上を行うなど、利用者ニーズに応えていきます。

トレーニングルーム	開場時間
平日	9:00～21:30
土・日曜日、祝日	7:30～21:00

弓道場	開場時間
個人使用可能日	9:00～21:00

- ・平成 26 年度に利用者ニーズの実態把握を行い、その結果をもとに検討を重ね、現在の利用時間を設定しています。今後も社会情勢等の要因により変化が予測される利用者のニーズを、的確に捉えた柔軟な対応を行っていきます。

## 提案課題 2 [施設の提供、運営に関する業務]

### 1 施設の提供

#### (3) 利用の調整

高品質な利用調整により、多様なスポーツ競技大会等に施設を提供し、一層のスポーツの普及振興に貢献します

- より多くの大会等の開催に向け、ノウハウと経験を生かした、きめ細やかな利用調整を行います。
- 利用者の利便性を考慮し、窓口での受付やインターネットなど、多様で簡便な手続きとします。

#### 1 使用申請から使用承認までの基本的考え方

##### ■ 公平で簡便な使用申請、使用承認

- 専用使用施設では、公平性が担保されている、現行の使用申請・使用承認の方法を継続します。
- 現行の「東京都スポーツ施設予約システム」を活用するほか、受付窓口やインターネットなど、利用者の利便性を考慮し、多様な手続き方法を継続します。
- 個人使用施設では、券売機による取扱いを基本とし、簡便な手続きとします。

##### 使用申請及び使用承認のポイント

公平・公正の担保

きめ細やかな利用調整

利用者の利便性・簡便性を考慮

魅力的な大会をより多く開催  
スポーツに接し易い環境の構築

#### 2 専用使用における施設提供

##### ■ 国際大会、全国大会、東京都大会等【優先受付】

###### (1) 経験・実績に裏付けられた利用調整

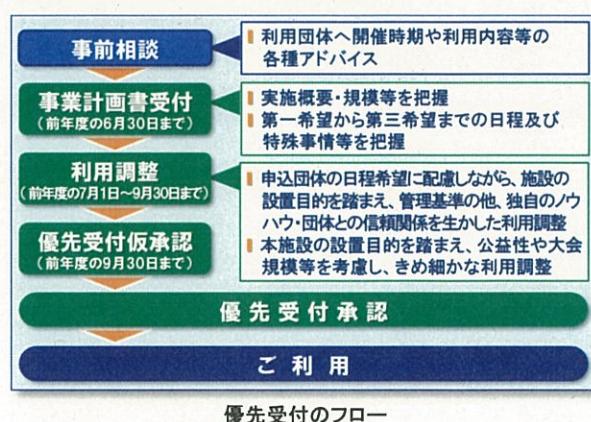
- 優先受付は、本施設を最大限に活用した国際大会・全国大会・東京都大会などの競技大会等を対象として実施します。
- 優先受付は、多くの団体から様々な大会の利用希望があり、近年では 500 件程と多くの申込を本施設にいただいています。
- 本施設は、平成 26 年 5 月から平成 29 年 7 月まで、屋内球技場、第一球技場、弓道場（弓道場は H26 年 9 月～H28 年 6 月）が改修工事により休館となりました。また、国立霞ヶ丘競技場（H26 年 6 月～）、国立代々木競技場（H29 年 7 月～）、大井ふ頭中央海浜公園球技場（H29 年 12 月～）、東京体育館（H30 年 7 月～）など、現在、都内スポーツ施設の改修工事による休館が続いています。
- このように平成 26 年度以降、これまでに比較して調整が難しい年が続いているが、代表団体 A は、競技団体等の理解と協力を得ながら、適切に日程調整を行ってきました。
- 今後、東京 2020 大会で都立スポーツ施設等が競技会場となり、他のスポーツ施設を利用されていた団体の利用希望が、本施設に集中する可能性があります。そのような中でも、これまで蓄積されたノウハウと経験、利用団体とのネットワークや信頼関係を生かし、公益性や大会規模等に配慮した適切な利用調整を行っていきます。

###### (2) 他の都立スポーツ施設との連携

- 代表団体 A は、東京体育館をはじめ、東京武道館、東京辰巳国際水泳場を管理しています。
- 本施設と併せて管理することにより、特に、利用希望の多い、体育馆、屋内球技場の屋内スポーツに対し、相互に融通するなど、効率的かつ効果的な利用調整を図っていきます。

###### (3) 具体的な実施方法

- 優先利用に当たっては、右図「優先受付のフロー」のとおり、申込団体の意向を十分に踏まえた、きめ細やかな利用調整を行っていきます。
- 事業計画書には、大会規模、参加対象者、観客予定数などの大会概要とともに、利用希望日を第 1 希望から第 3 希望まで記入いただき、希望を十分把握したうえで利用調整を行います。



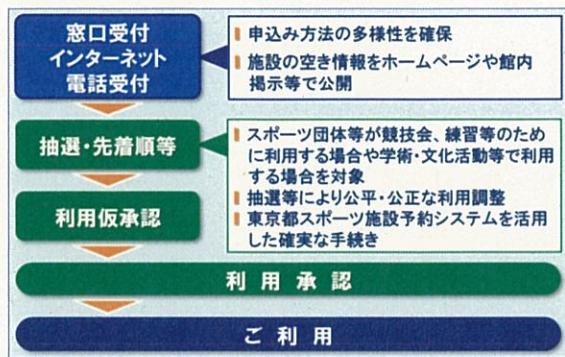
## 提案課題 2 【施設の提供、運営に関する業務】

### 1 施設の提供

- 希望が重複した際は、管理基準による決定のほか、第1希望以外の希望日での調整、施設の利用規模の調整、日程の短縮・移動など、様々な項目をもとに申込団体と調整や交渉を実施し、団体の意向を最大限踏まえつつも施設の有効活用を考慮したきめ細やかな利用調整を行います。

#### ■ 優先受付以外の受付【一般受付】

- 一般受付は、スポーツ団体等が競技会、練習等のために利用する場合や学術・文化活動等で利用する場合を対象とします。
- 申込方法の多様性を確保するとともに、「東京都スポーツ施設予約システム」を活用し、現行の使用申請・使用承認の方法を継続します。
- 空き施設については、「東京都スポーツ施設予約システム」やホームページ等を通じて周知を図り、施設の有効活用を図っていきます。



一般受付のフロー

### 2 個人使用における施設提供

#### ■ 利便性を考慮した現行の入退場方法を維持

- トレーニングルーム、弓道場の個人使用についての使用申請・使用承認は、右図のとおりです。
- 条例等の基準に基づく減免対象の方など、個別の対応が必要な場合は、受付カウンターで適切に対応します。

#### (弓道場の個人使用)

- 専用使用に空きがある近的場、遠的場を個人使用として開放し、弓道・アーチェリーの稽古・練習に利用していただきます。
- 一般開放日程については、利用可能日時、弓道とアーチェリーの別などを前月末からホームページや施設内での掲示により周知を図り、施設を有効活用していきます。



個人使用施設利用のフロー

### 3 その他特記事項

#### ■ 「東京都スポーツ施設予約システム」の活用とシステムの改善

- 確実な使用申請・使用承認を行うため、「東京都スポーツ施設予約システム」の活用を継続します。
- また、代表団体Aが管理する本施設独自のホームページから施設の空き状況を常時公開している予約システムにリンクさせ、スムーズに予約手続きが行えるようにしていきます。
- 予約システムは、東京都が所有する大部分のスポーツ施設に関わるものであり、安全で安定したシステムであるとともに、利用者にとって分かりやすく、利用しやすい利便性を確保することが必要です。そのほか、稼働率や利用者数などの統計、種目別利用状況の検索など、東京都への報告や施設運営上の機能も必要です。
- 現在の予約システムは、本施設の指定管理を通じて、代表団体Aの施設予約や管理運営等の経験等を活用して構築し、現在も円滑に運用しています。
- 今後も、利用者の利便性向上を図るため、より使いやすく、安定したシステムとなるよう改善に取り組んでいくとともに、東京都の求めに応じて、新設された都立スポーツ施設へ予約システムを活用していく場合にも全面的に協力していきます。

提案課題 2 ［施設の提供、運営に関する業務】

1 施設の提供

(4) 利用料金



## 提案課題 2 ［施設の提供、運営に関する業務】

### 1 施設の提供

事業者名・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ

別紙





## 提案課題 2 [施設の提供、運営に関する業務]

### 2 施設の運営

#### (1) トレーニングルーム運営業務

多様化するニーズを把握し、スポーツを「はじめる」、「つづける」をサポートします

- スポーツを「はじめる」きっかけをつくり、「つづける」サービスを提供します。
- 実績あるプログラムの拡充と新たなサービス提供により、利用者の拡大を図ります。
- 基準を超えるスタッフ配置により、増加する利用者と事故防止に対応します。
- 付加価値の高い物品販売やレンタルサービスを新たに展開します。

#### 1 トレーニングルーム運営業務

##### ■ 基本的な考え方

- ・運動をあまりしない人からヘビーユーザーまで、それぞれの目的に合わせたトレーニングができるよう、適切な運動指導や運動メニューの作成など、レベルに応じたサービス提供を行います。
- ・好評を得ているプログラムの充実に加えて、新たなサービス提供により、利用者の拡充に取り組みます。
- ・経験豊富なスタッフと有資格者を配置し、安全・安心な施設環境を提供します。
- ・利用者の満足度向上を目的に物品販売やレンタルサービスを展開します。



適切な運動指導

#### 2 利用者拡大策の推進

##### ■ 利用者数向上の実績

- ・利用者ニーズに合わせたトレーニング機器のリニューアルや利用者へのきめ細やかなサービス提供により、当グループが運営している期間における利用者数は年々増加しています。
- ・一般利用者（健常者）だけではなく、障害者の利用者数も増加しており、都民のスポーツ実施率向上に寄与しています。



トレーニング室 年間利用者数の推移

##### ■ 開場時間の延長と繰上

- ・平日の夜間延長と土日祝日の開場時間の繰上げについては、利用者から好評であり、次期指定管理期間も継続します。
- ・今後も利用者ニーズの把握に努め、さらなる利便性の向上に向け、検討していきます。

##### ■ グループエクササイズの充実

- ・トレーニングルーム内のスタジオで実施している「グループエクササイズ」の充実を図ります。
- ・現在、利用者は誰でも無料で参加できる、体力づくりや健康の維持増進に向けたプログラムを週30回実施しています。
- ・次期指定管理期間からは、プログラムを拡充し、「週33回」の実施とします。

※プログラム内容につきましては、提案課題3-1(2)別表 自主事業の事業実施計画をご参照ください。

##### ■ 相談窓口の開設

- ・障害者のトレーニング（初心者）相談窓口を開設します。「初級障がい者スポーツ指導員」や「中級障がい者スポーツ指導員」の資格をもつスタッフが対応し、スポーツをする喜びや楽しさを伝えます。
- ・「健康運動相談カウンター」において、予約制の運動メニュー作成よりも気軽に応える相談機能を構築します。

## 提案課題 2 [施設の提供、運営に関する業務]

### 2 施設の運営

#### 3 安全管理体制の充実

##### ■ スタッフの配置

- トレーニングルームのトレーナー業務については、業務スタッフの中から総括責任者を選任して業務の指導・監督にあたります。
- 副責任者が総括責任者を補佐することで、開場時間中は常時指揮命令系統を構築していきます。
- トレーナーは現在の利用状況を考慮して配置人数（ポイント）を提案します。「管理運営の基準」に示された配置人数から平日は1名増員とし、土日祝日の繁忙期には2名増員にて対応することで、増加する利用者の対応と事故防止に努めます。

業務職種			配置人数（ポイント数）		
トレーナー業務	総括業務	総括責任者	トランク	東京都による 管理運営の基準	当グループ提案
	ヘルスチェック等業務	1以上		1以上	1以上
	指導業務	1以上		2以上	3以上
	体操指導等業務	1以上		1以上	1以上
	受付業務	受付	2以上	2以上	2以上

配置スタッフ数一覧

呼称	人数	取得資格	その他
総括責任者	1名	下記の条件を全て満たす者 ・保健体育の教員普通免許 ・トレーニング関係の公的資格等を有する者 ・通算5年以上のトレーナー業務歴	
トレーナー	4~5名	下記のいずれかの資格を有する者 ・採用時満20歳以上の体育系大学若しくは体育専門学校を卒業（卒業見込を含む）した者 ・トレーナー業務に関し専門的な知識と技術及び顕著な業務歴を有する者	1名以上は下記の条件を満たす者を常時配置します。 ・トレーニング関係の公的資格等を有し、経験が5年以上あり、ヘルスチェックを行うことができる者 ・「東京都障害者スポーツ指導者講習会」又は「障害者スポーツ指導員養成研修会」等の受講者
受付	2名	・満18歳以上で受付業務を円滑に遂行できる者	

配置スタッフの資格

##### ■ スタッフの教育研修

- 教育研修カリキュラム等を準備し、新たに雇用した従事者に対して、就業前に同様の教育、訓練を行います。
- 月1回以上の心肺蘇生法の訓練を行います。また警備員指導教育責任者による「警備（監視・トラブル・利用者対応）講習会」を実施します。

※教育研修内容につきましては、提案課題4-4 人材育成の取組をご参照ください。



教育研修の様子(駒沢)

##### ■ 賠償責任保険への加入

- 「1事故1億円、死亡7,000万円、その他治療費等全額支給」と同等以上の保険に加入します。

#### 4 付加価値の高い物品販売サービス

- 利用者へのヒアリングでは、タオル・靴下などの小物を中心としたスポーツ用品の販売を希望する声が多かったため、「スポーツミニショップ（仮称）」を新たに展開します。
- 個人用レンタルロッカーに加え、レンタルシューズ（有料）のサービスを開始します。
- アスリートに必要なサプライメントの提供を求める要望に応じて、「プロテイン・バー（仮称）」を開設します。



スポーツミニショップ（イメージ）

## 提案課題 2 [施設の提供、運営に関する業務]

### 2 施設の運営

#### (2) 東京オリンピックメモリアルギャラリー運営業務

##### オリンピックの記録と記憶を後世に継承していきます

- 1964年東京オリンピックの記録と記憶を後世に伝えるため、展示方法等を工夫しながら、適切に関連資料等を展示します。
- 常設展示や体感エリアなどを通じて、オリンピックを身近に感じられるようにしていきます。
- 東京2020大会の実施競技などの情報発信を行い、大会気運を醸成します。
- 来場者に的確で、丁寧な案内・説明を行い、オリンピックへの理解、興味を促進します。

#### 1 1964年大会を未来へ継承する取組

##### ■ ギャラリー運営の基本的な考え方

- ・1964年東京オリンピック時の資料や記録を適切に展示・保管し、後世にそのレガシーを継承していきます。
- ・常設展示や体感ツール、企画展示などにより、多くの方にオリンピックへの興味関心を喚起します。
- ・来場者や小中学校等の団体見学の質問などに適切に対応し、オリンピックへの理解を深めていただきます。



常設展示

##### ■ 資料の展示や体感エリアの設置によるオリンピックへの理解促進

- ・常設展示では、1964年東京オリンピックのユニフォーム、メダル等をショーケースに保存・展示します。映像装置等による開・閉会式や全競技のハイライトが常時鑑賞できるようになります。
- ・また、体感エリアでは聖火リレートーチやハンマー投げ競技用具などを直接手で触ることをはじめ、走り高跳びや三段跳びの世界記録について、その高さや距離を体感していただき、オリンピックを身近に感じてもらえるようにします。
- ・企画展示については、四半期毎に展示内容(例:競技別の歴史や用具・ルールなどの展示・解説等)を適宜変更するなど、オリンピック競技への理解促進とリピーターの拡大を目指します。
- ・1964年東京オリンピック関連の図書や雑誌等を自由に閲覧できるよう整備し、オリンピックへの理解とレガシー継承につなげていきます。

##### ■ 東京2020大会の気運醸成

- ・東京2020大会で実施されるオリンピック・パラリンピック競技の案内や、活躍が期待される日本人選手の情報などを発信し、大会の気運醸成を図ります。大会後には、レガシー継承のため、東京都と協議の上、他の都立スポーツ施設等とも連携した大会関連グッズや資料の展示等を検討します。

##### ■ 来場者からの質問等への対応

- ・来場者からの質問等に対し、的確かつ円滑に回答できるよう、受付窓口には展示物等を熟知した係員を配置します。
- ・小中学校等の団体見学での質問にも分かりやすく丁寧に対応し、次世代を担う子供たち等にオリンピックへの理解、興味を促進します。

##### ■ 来場者拡大の取組

- ・東京2020大会に向け、小中学校等の団体見学を積極的に受け入れ、オリンピックやスポーツに対する興味関心を高めています。
- ・ギャラリーの魅力についてSNSやホームページ、園内掲示等で積極的に広報します。
- ・メディア等の取材申込みにも柔軟に対応し、魅力発信を行います。

## 提案課題 2 [施設の提供、運営に関する業務]

### 3 施設内サービス

#### (1) 受付案内

あらゆる利用者に対応する受付・案内・相談サービスの充実を図ります

- スポーツ、公園双方の施設及び事業を熟知したスタッフによる利用者へのスムーズな案内を実施します。
- 障害のある人をはじめ様々な利用者の視点に立ち、必要な「マインド」と「アクション」を実践します。
- 公の施設として、誰もが安心して利用できるユニバーサルなサービスの提供を行います。

#### 1 利用者が快適に施設を利用できる受付システム

##### ■ 利用しやすい窓口の設置

- ・本施設はトレーニングルームを含む11の施設を擁することから各施設の利用者動線を十分に配慮し、専用使用希望者から個人使用希望者まで、幅広い利用者に対応できる受付案内をゾーニングにより整備します。
- ・陸上競技場サービスセンターにおいては、利用の申込受付のほか総合窓口として運用し、公園の案内も含め、ワンストップでの各種問い合わせ等に対応します。
- ・最も問い合わせの多い公園内の簡易な施設案内等については、総合受付に入室する前の警備員室にインフォメーション機能を持たせ、園内マップを活用し速やかに対応します。



総合窓口

#### 2 高品質なサービスを提供する受付業務体制

##### ■ 質の高い受付業務に向けた取組

- ・各施設の案内には、施設や事業の案内だけでなく業務経験が豊富なスタッフを配置することで利用者のニーズに最大限に応え、利用者が快適かつ安全に施設を利用できる環境を作ります。
- ・また、障害のある人や高齢者など相手の視点に立って、「こころづかい」をもって行動できるよう体系的に行動するため、ユニバーサルマナー検定を定期的に取得します。
- ・海外からの来場者にも的確な案内ができるよう、多言語翻訳アプリケーションソフトウェアの導入及び活用など、外国語に不慣れなスタッフでも一定の対応ができるよう、組織全体として対応できる体制づくりに取り組みます。
- ・車椅子を利用する方への無料貸し出しや耳の不自由な方に配慮した筆談器の設置、障害者用トイレの整備等、障害のある人が安心して施設を利用できるようフレキシブルな対応に努めます。



ユニバーサル  
マナー検定認定証

##### ■ 全ての人にとって優しい施設サービスと整備

- ・2020改革の一つである「施設サービス魅力向上プロジェクト」に基づき、入館から退館に至るまで利用者が快適に目的を果たすことができるよう、様々な視点に立って施設環境を整えます。
- ・来館された利用者にとって、わかりやすく見やすい場所に各種案内表示を掲示します。ISO国際規格に準じた世界共通サインを使用し、外国人を含め、見てわかりやすいユニバーサルデザインを整備します。また、注意喚起については丁寧な文章表現により、利用者の心証を害するがないよう留意します。
- ・それぞれの施設において、車いす利用者の見やすいサインやちょっとした段差の視認化など、実際に障害のある人の目線で改良点を見つけてもらい、時間と金額のかかるハードの改善ではなく、施設のハートある改善を進めます。
- ・子供や高齢者にも優しい施設とするため、案内表示はピクトグラムを採用し、表示は利用者の目線に適した位置、場所に設置します。
- ・海外からの利用者の利便性向上のため、Wi-Fiスポットをトレーニングルームのほか、東京都と協議の上、設置の拡大を図ります。

## 提案課題 2 [施設の提供、運営に関する業務]

### 3 施設内サービス

#### (2) 苦情・要望等に対する対応

##### 利用者の声に広く耳を傾け、施設運営の改善に努めます

- 積極的に利用者の声を収集し、継続的な業務改善により、施設サービスの向上を図ります。
- 都立スポーツ施設として適切な対応と公表により、説明責任を果たし、より良い施設運営を実現します。

#### 1 意見・要望への具体的な対応方法

##### ■ トラブルの未然防止

- ・スタッフが頻繁に施設内外を巡回し、適宜利用者とのコミュニケーションを図ることで、施設の潜在的なクレーム等を吸い上げ、トラブルの未然防止に努めます。

##### ■ 利用者の声の収集方法

- ・様々な収集方法を用いて利用者の意見・要望を把握し、より良いサービスを提供します。

収集方法		内 容
専用 使用 施設	利用団体等へのヒアリング	大会・イベントを運営する主催者や関係者からの意見・要望も重要なため、利用団体との打ち合わせ等でヒアリングを実施します。
	利用者懇談会や意見交換会を開催	利用団体から直接意見を伺う利用者懇談会や、地域団体等を通して、周辺地域との連携を図りながら施設運営に取り組みます。
個人 使用 施設	スタッフによる声の収集	受付窓口において、スタッフによる利用者との日常的なコミュニケーションを通じ、利用者の「生の声」を収集します。
	ご意見箱の設置	施設内にご意見箱を設置し、定期的に利用者からの意見・要望を回収します。
共通	電話・インターネットによる受付	電話のほかホームページを活用し、休館日・営業時間外でも意見・要望を受け付けます。
	アンケートの実施	運営の指標として定期的に利用者満足度調査を実施します。

利用者意見の収集方法

##### ■ 苦情・要望等に対する対応

- ・当グループが管理する都立スポーツ施設での経験や知識から、対応方法マニュアルや質疑応答集を作成し、苦情等が発生した際に誰もが適切に対応できる体制を整えます。
- ・意見・要望・対応事例を記録しデータベース化するとともに、各部門や関係機関連携体制を整えることにより、効率的・効果的な改善策を実施し、スキルの向上とともに、高度なサービスの提供を実現します。
- ・満足度調査で得た利用者の意見・要望に対して、実際に改善したことを適宜利用者に報告していくことで、利用者との信頼関係の構築に努めます。



苦情対応フロー

##### ■ 利用者への公表と施設改善への取組

- ・対応策決定後、東京都及び本施設各所と情報共有を行うとともに、利用者に対し苦情・要望内容及びその改善策を公表します。公表は施設内掲示などで行い、都立スポーツ施設としての説明責任を果たします。
- ・代表団体Aが管理している都立スポーツ施設の代表が集まる経営会議並びに東京都で実施するパートナーシップ会議で事例を共有することで、本施設を含めた都立スポーツ施設全体の対応スキルの水準を向上させるとともに、状況が合致する場合は当該改善策を取り入れることで、より一層の施設内サービスを提供します。

## 提案課題 2 [施設の提供、運営に関する業務]

### 3 施設内サービス

#### (3) 駒沢オリンピック公園との連携協力

##### 公園との連携協力による質の高いサービス提供に取組みます

- 平成18年度から平成25年度まで本施設と公園の一体管理の経験を基に、利用者目線に立って質の高いサービスを実施します。
- 東京都の重要な防災拠点として、危機管理体制を構築します。
- スポーツ公園としての賑わいと魅力を相乗効果で高めます。

#### 1 公園協会との連携によるスポーツ施設との一体化

- ・都内でも有数のランニングコースや代表団体Aが管理していた時に設置した「SS広場」など、週末、特にスポーツ施設で大会等が実施されている園内は、スポーツ好きが集まる公園として非常に賑わっています。
- ・今後もこうした貴重な資源を有効活用し、公園協会と共同して管理並びに利用者目線に立った整備を進めます。



ランナーが集う園内

#### ■ 公園協会との協力体制の構築

- ・都立公園として、公園の利用には屋外広告の制限など様々なルールがあり、また東京都公園管理部局の管理方針を尊重する必要があるため、これら規則等を理解し景観や公共性に配慮したうえで、スポーツ施設の建物管理やサービスの提供及び事業を実施します。
- ・「公園連絡担当職員」を設置し、公園に関わる調整を行い、良好な協力関係を構築します。

#### ■ 公園と一体性のある施設運営の実施

- ・公園協会と当日の業務予定や事件・事故、遺失物等について、毎日始業時に情報共有を行います。重要事項は、その都度管理担当課長や管理職を交え、対策について協議します。
- ・施設の事業担当、貸出担当、設備担当や公園担当のほか、清掃担当や警備担当、その他各部門スタッフ等を交えた「実務担当者会議」をこれまで同様毎月実施し、情報共有を図ります。
- ・公園協会と共同で、公園とスポーツ施設の「園内マップ」を作成し、窓口等で利用者に配布します。また、園内の案内板も意見交換をして充実させていきます。

#### ■ 危機管理体制の構築

- ・駒沢オリンピック公園は、「防災公園」として「大規模救出救助活動拠点」等の役割を担っていることから、指定管理者相互の意思疎通を図るために合同の防災訓練を実施するほか、地元区・消防・警察、自衛隊との合同防災訓練にも参加し、災害に備える万全の体制を整えます。
- ・都民に防災の知識を普及する「防災フェスタ」を、公園協会をはじめ地元消防・警察・自衛隊と連携して実施します。

#### ■ 公園を利用したランニング事業の展開

- ・トレーニングルームのランニングステーション利用を促進し公園利用者を支援します。
- ・「駒沢6時間耐久レース」「グリーンリボンランニングフェスティバル」など園内ジョギングコースを活用した事業を実施するほか、「パラ駅伝 in TOKYO」「世田谷246ハーフマラソン」などの大規模イベントが円滑に実施できるように、施設並びに公園利用者との合同打合せ等において意思疎通を図ります。

#### ■ スポーツ施設を含めた公園全体の賑わいの創出

- ・「体育の日記念事業」や東京都主催「スポーツ博覧会・東京」など各施設と中央広場を活用したイベントを実施することで地域の賑わいを創出します。
- ・中央広場で開かれる食のイベント「ラーメンショー」とスポーツ施設全体で開催するニュースポーツイベント「みんなのスポーツ塾」を共同で広報活動することで、公園とスポーツ施設利用者を繋ぐとともに、高い相乗効果を生み出します。
- ・管制塔のライトアップにより、東京2020大会の気運醸成を図るなど、インスタ映えする公園の魅力も発信します。



管制塔のライトアップ

### 提案課題 3 [スポーツの普及振興、利用者へのサービス向上等の事業に関する業務]

#### 1 事業の提供

##### (1) スポーツ振興事業

「スポーツ都市東京」の実現に向け、東京都の施策に沿った事業を展開します

- 「東京都スポーツ推進総合計画」の目標であるスポーツ実施率70%に向けた事業を展開します。
- 「する・みる・支える」の視点など、東京都の施策に沿いながら、対象を明確にした事業を展開します。
- 本施設の機能・特性を生かすとともに、競技団体等とのネットワークを活用した多様な事業を展開します。

##### 1 事業実施における基本的な考え方

- ・「東京都スポーツ推進総合計画」の目標である**スポーツ実施率70%**、「スポーツ都市東京」の実現に向けた事業を展開します。
- ・「する・みる・支える」の視点など、東京都の施策に沿いながら、**対象を明確にした事業**を展開します。
- ・代表団体Aと構成団体Cの経験と実績、スポーツ及びレクリエーション団体等との**ネットワークを活用**し、本施設の機能・特性を生かした多様な事業をグループ一丸となって展開します。
- ・東京都の施策に合致した事業を実施するため、PDCAサイクルの考え方に基づき、継続的な見直しや改善を行うことでより効果的な事業としていきます。

##### スポーツ振興事業のポイント

###### 東京都スポーツ推進総合計画に沿った事業展開

- ・実施率70%への寄与
- ・対象の明確化

###### 施設特性を生かした事業展開

- ・公園内運動施設
- ・大規模な施設

###### 協力団体とのコラボレーション

- ・競技団体
- ・レクリエーション団体
- ・大学研究機関

- ・NPO団体
- ・民間企業、団体等

###### 事業評価による継続的な改善

- ・PDCAサイクルによる見直し

##### 東京都スポーツ施策の効果的な推進

##### 2 施策に合致した多様な事業を展開

###### ■ スポーツに親しむ多様な機会を提供する「するスポーツ」の推進

- ・幼児・子供、働き盛り世代、女性、高齢者、障害者を含めて、誰もがスポーツとふれあい、生涯を通じてスポーツに親しみ、楽しむことができるよう、多様なスポーツへの取組を促進します。

###### ● 次代を担う幼児・子供のスポーツ推進

###### 【スポーツへの関心喚起】

- ・スポーツの楽しさを知ってもらう「駒沢キッズレスリングデー」などを開催し、**スポーツを始めるきっかけ**を提供します。また、元日本代表から指導が受けられる「インドアサッカー塾」を行い、技能向上とスポーツの魅力を伝えていきます。
- ・「ジュニアテニスアカデミー」、「ジュニアサッカースクール」を開催し、基本技術やフェアプレー精神を培い、スポーツを続けていくための基礎を育みます。

###### 【 ジュニアの競技力向上 】

- ・東京都高等学校体育連盟専門部等と連携し、運動部活動生徒が、経験の豊富な講師から技術指導を受けられる「部活動合同練習会」を実施し、部活動の活性化、**ジュニアの競技力向上**を図ります。

###### ● ライフスタイルに応じた働き盛り世代・女性のスポーツ推進

###### 【 働き盛り世代がスポーツを楽しむ場の提供 】

- ・子供と共にスポーツと触れ合う機会を提供する「親子で楽しむフットサル」や、公園ジョギングコースを活用した「ジョギング・ランニングセミナー」、オリンピアンなどのアスリートから直接指導を受ける「アスリートとのスポーツ交流体験」を行い、スポーツへの関心と意欲を高め、**働き盛り世代のライフスタイル**に沿った事業を行うことで、スポーツ実施率の向上に寄与します。

###### 【 女性のスポーツ活動の推進 】

- ・競技団体の協力を得て、地域で活動する女性バレーボール爱好者を対象に、参加者間の交流促進を図る「女性バレーボール交流会」を行い、継続的なスポーツ実施を促進します。
- ・また、仕事や子育てに忙しい女性も含め、誰もが気軽にできるレクリエーション体操の機会を提供し、**日常的な運動実践のきっかけづくり**を図ります。

### 提案課題 3 [スポーツの普及振興、利用者へのサービス向上等の事業に関する業務]

#### 1 事業の提供

##### ●健康長寿に向けた高齢者のスポーツ推進

###### 【継続的なスポーツ実施を促進】

- ・高齢者を対象に、健康寿命の延伸、介護予防の観点からスポーツに親しみ、仲間づくりにつながる事業や、スポーツの技能向上を図る事業などを行い、**健康体力の維持増進**、継続的なスポーツの実施意欲を促進する事業を展開します。

##### ●気軽に楽しめるレクリエーションを活用した事業展開

- ・レクリエーション種目団体等と連携し、働き盛り世代を対象に、ニュースポーツを体験する機会を提供し、誰もが楽しめるレクリエーションの一層の普及振興、スポーツ実施率の向上に寄与する事業を展開します。
- ・女性や高齢者を対象として、**レクリエーションを活用した健康・体力の維持増進運動**などを行い、スポーツの習慣化に寄与する事業を実施します。

##### ●共生社会の実現に向けた、障害者スポーツの振興

- ・NPO団体等と連携し、「障害者サッカークリニック」を行い、障害のある人にスポーツに親しむ機会を提供します。また、スポーツを通じた交流事業を行い、スポーツの楽しさを知る機会を提供し、**障害者スポーツ振興**に寄与する事業を展開します。

##### ■スポーツへの興味・関心を高める「みるスポーツ」の推進

- ・競技団体と連携して、本施設で行われる大規模大会を実際に見て、スポーツの醍醐味、素晴らしさを知ってもらう機会を提供する「**スポーツ観戦事業**」を実施します。全国高等学校サッカー選手権大会などの話題性のある大会の観戦を通じて夢や感動を享受し、**スポーツへの関心と実施意欲**を高めます。

##### ■スポーツの裾野拡大に必要な人材育成「支えるスポーツ」の推進

- ・障害者や高齢者、ジュニアの指導者、レクリエーション指導者を対象に、各地域において、より一層活躍できるよう、指導技術向上のための講習を行い、**スポーツを支える人材の育成**を図ります。
- ・また、スポーツ現場で救急の際に必要となる知識と技術を学ぶ講習を行い、救急時にも冷静に対応できる指導者を育成します。

#### 3 体育の日記念事業の展開

##### ■多様なプログラム展開を通じて、スポーツへの意欲を高める事業を展開

- ・スポーツ基本法を踏まえ、スポーツになじみのない方でも参加できる、豊富なプログラムを提供することで、スポーツへの興味・関心を高め、**スポーツに対する意欲を促進**していきます。
- ・東京 2020 大会の気運を高めるプログラムや、スポーツ実施率の向上に向けて気軽に楽しめるプログラムなど、工夫を施して取組んでいきます。
- ・当時は、通常有料となっているトレーニングルーム等の個人使用施設を、**無料で開放**します。

目的	事業展開案（一例）
東京 2020 大会の気運醸成	<ul style="list-style-type: none"><li>・オリンピック競技やパラリンピック競技の紹介や体験</li><li>・オリンピアン、パラリンピアンのトークショー 等</li></ul>
スポーツ実施率の向上	<ul style="list-style-type: none"><li>・気軽に楽しめるニュースポーツなどの紹介、体験</li><li>・ランニング、ウォーキングなど気軽に始められる種目の技術指導 等</li></ul>
競技スキルの向上	<ul style="list-style-type: none"><li>・指導実践の優れた講師による初心者から経験者までの多様なスポーツの技術指導 等</li></ul>
地域交流	<ul style="list-style-type: none"><li>・賑わいスペースの展開、地域の方々やプログラムの合間にスポーツに触れるコーナーなどの展開 等</li></ul>
健康体力づくり	<ul style="list-style-type: none"><li>・トレーニングルームの無料開放</li><li>・グループエクササイズの無料体験 等</li></ul>

プログラム構成の例

事業者名・団体名	公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ
----------	------------------------

**提案課題3-1(1)別表 スポーツ振興事業の事業実施計画[平成31年度(2019年度)]**

◆ 内 容

No	事業名及び内容	対象・層	時期 回数	収支計画		その他※	
				定員	事業当たり 参加料/人		
1	<b>【インターナショナルミニサッカー】</b> 幼児・小学生を対象に、サッカーの交流試合を実施する。試合を通じて、国籍を超えた交流を促し、スポーツの楽しさに触れることで、スポーツ実践の積極的な意欲の高揚に寄与する。	幼児・子供	1回 1日	幼児 20チーム (200) 小学生 26チーム (364)	支出し 収入合計	講師費用 参加料	材料費 協賛金
2	<b>【1964東京オリンピック開催記念 駒沢キッズレスリングデー】</b> NPO全国少年少女レスリング連盟と連携し、幼児・小学生を対象に、1964年東京オリンピック大会でレスリング会場であつた施設を活用し、レスリングの体験を通して、スポーツに親しみをもつかけづくり及びレスリングの普及・振興に寄与する。	幼児・子供	1回 1日	子供 80 親子 20	支出合計	講師費用 収入合計	材料費 協賛金
3	<b>【駒沢ジュニアサッカースクール】</b> と連携し、幼児・小学生を対象に、サッカーを通して基本技術の習得やルールの遵守によるフエアプレー精神を培う場を提供する。参加者同士の交流を促し、スポーツの楽しさを学び、子供達の健全な発達・成長に寄与する。	幼児・子供	通年 38日	420	支出合計	講師費用 収入合計	材料費 協賛金
4	<b>【駒沢ジュニアテニスアカデミー】</b> 幼児・小学生を対象に、テニスを通して基本技術の習得やルールの遵守によるフエアプレー精神を培う場を提供する。参加者同士の交流を促し、スポーツの楽しさを学び、子供達の健全な発達・成長に寄与する。	幼児・子供	3回 各10日 (計30日)	120	支出合計	講師費用 収入合計	材料費 協賛金
5	<b>【元日本代表が指導するインドアサッカーキャンプ】</b> 小学生を対象に、元日本代表選手による経験等を生かした、技術指導を実施する。技能の向上とともにスポーツの魅力を理解し、生涯スポーツを実践する。技能の推進に寄与する。	子供	3回 各10日 (計30日)	180	支出合計	講師費用 収入合計	材料費 協賛金
<b>総合計</b>				実施回数	参加人数	<b>支出合計①</b> — <b>収入合計②</b> —	

- 「その他」については、具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。
- 「6 収支計画(1)及び(2)」の金額と一致すること。

**提案課題3-1(1)別表 スポーツ振興事業の事業実施計画[平成31年度(2019年度)]**

◆ 内 容

No	事業名及び内容	対象・層	時期 回数	1事業当たり 定員 参加料/人		収支計画	
				支出合計	講師費用	材料費	その他※
6	【屋外スポーツ部活動合同練習会(アーチェリー)】 アーチェリーパーのリーダーを対象に、合同練習会を実施する。技術の向上、他校生徒との交流する機会を提供し、運動部活動の活性化、ジュニア世代の競技力向上を図る。	子供	1回 1日	100		収入合計 参加料	協賛金 その他※
7	【屋外スポーツ部活動合同練習会(ホッケー)】 ホッケーパーのリーダーを対象に、合同練習会を実施する。技術の向上、他校生徒との交流する機会を提供し、運動部活動の活性化、ジュニア世代の競技力向上を図る。	子供	1回 1日	100		支出合計 収入合計 参加料	講師費用 協賛金 その他※
8	【屋外スポーツ部活動合同練習会(ラクロス)】 ラクロス部のリーダーを対象に、合同練習会を実施する。技術の向上、他校生徒との交流する機会を提供し、運動部活動の活性化、ジュニア世代の競技力向上を図る。	子供	1回 1日	100		支出合計 収入合計 参加料	講師費用 協賛金 その他※
9	【親子で楽しむフットサル】 小学生と保護者を対象に、フットサルを体験する機会を提供する。スポーツへの触れ、楽しさの体験を通じて、子供と保護者それぞれが、スポーツへの興味・関心を高め、継続的なスポーツ実践のきっかけづくりを図る。	子供 働き盛り世代	1回 1日	100 (50組)		支出合計 収入合計 参加料	講師費用 協賛金 その他※
10	【アスリートとのスポーツ交流体験】 小学生とその保護者を対象に、オリンピアン等の著名なアスリートや指導者を講師に招き、スポーツを体験する機会を提供する。講師との交流やスポーツ体験を通して、競技の楽しさや魅力の理解を促し、継続的なスポーツ実践のきっかけづくりを図る。	子供 働き盛り世代	2回 2日	100		支出合計 収入合計 参加料	講師費用 協賛金 その他※
● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。 ● ※「その他」については、具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。 ● 「6 収支計画(1)及び(2)」の金額と一致すること。				総合計	実施回数 - - -	参加人数 - - -	支出合計① - - - 収入合計② - - -

## 提案課題3-1(1)別表 スポーツ振興事業の事業実施計画[平成31年度(2019年度)]

### ◆ 内 容

No	事業名及び内容	対象・層	時期 回数	1事業当たり 定員	収支計画				
					支出合計	講師費用	材料費	その他※	
11	<b>【運動不足解消のためのニュースポーツ見本市】</b>  働き盛り世代を対象に、複数のニュースポーツを体験、技術習得する機会を提供する。気軽に楽しめる種目への理解、体を動かすかけづくり、レクリエーションの理解を促し、継続的なスポーツ実践のきっかけづくりを図る。  <b>【ジョギング・ランニングセミナー】</b>	働き盛り世代	1回 1日	80		収入合計	参加料	協賛金	その他※
12	働き盛り世代を対象に、ランニング技術の向上を図るセミナーを実施する。安定したフォームづくりやトレーニング方法などを学び、生涯する。  スポーツボーットの推進に寄与する。	働き盛り世代	2回 2日	80		支出合計	講師費用	材料費	その他※
13	<b>【1964東京オリンピック優勝記念女性バレーボール交流会】</b>  女性バレーボールチームを対象に、日頃の練習の成果を発揮する場を提供する。交流試合を開催し、他地区のチームとの広域的な交流を図り、女性スポーツの一層の充実、継続的なスポーツの実施を促進する。	女性	1回 5日	60チーム (660)		支出合計	講師費用	材料費	その他※
14	<b>【女性のためのレクリエーション体操】</b>  女性を対象に、気軽にできるレクリエーション体操を紹介、体験する機会を提供し、仕事や子育て等に忙しい方、運動に苦手意識のある方などに、日常的なスポーツ実践のきっかけづくりを図る。	女性	1回 1日	40		支出合計	講師費用	材料費	その他※
15	<b>【シニアのためのスポーツクリニック】</b>  高齢者を対象に、スポーツ技能の向上を図るためにクリニックを実施する。競技志向の方などに、一層のスポーツの実践意欲を促すとともに、健康・体力の維持増進を図る。	高齢者	1回 1日	40		支出合計	講師費用	材料費	その他※
<b>● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。</b>				<b>総合計</b>	実施回数	参加人数	<b>支出合計①</b>		
<b>● ※「その他」については、具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。</b>							<b>−</b>	<b>収入合計②</b>	
<b>● 「6 収支計画(1)及び(2)」の金額と一致すること。</b>							<b>−</b>	<b>−</b>	

## 提案課題3-1(1)別表 スポーツ振興事業の事業実施計画[平成31年度(2019年度)]

### ◆ 内 容

No	事業名及び内容	対象層	時期 回数	1事業当たり 定員 参加料/人		収支計画		
				支出合計	講師費用	材料費	その他※	
16	【シニアのためのニュースポーツ体験セミナー】 高齢者を対象に、ニュースポーツを体験する機会を提供する。無理なく気軽なスポーツに触れ、体を動かす楽しさを知り、健康・体力の維持増進、スポーツの習慣化や仲間づくりに寄与する。	高齢者	2回 2日	80			収入合計 参加料	協賛金 その他※
17	【障害者・高齢者スポーツ講座】 障害者と高齢者を対象に、スポーツに親しむ場を提供する。スポーツを通じて交流を図り、スポーツの素晴らしさを知ることで、スポーツへの関心を高め、障害者・高齢者のスポーツ活動意欲を促進する。	障害者 高齢者	1回 1日	50			支出合計 収入合計 参加料	講師費用 協賛金 その他※
18	【障害者サッカークリニック】 知的障害者を対象に、身体能力に応じて、ボール遊びからサッカー技術を習得する機会を提供し、スポーツの楽しさを知り、継続的なスポーツ実践のきっかけづくり、障害者スポーツの振興を図る。	障害者	1回 1日	50			支出合計 収入合計 参加料	講師費用 協賛金 その他※
19	【トップスポーツ観戦事業】 一般市民を対象に、競技団体の協力を得て、駒沢で開催される大規模大会を観戦する場を提供する。観戦を通じてスポーツへの理解と関心を高め、スポーツ実践のきっかけづくりに寄与する。	誰でも	3回 3日	150			支出合計 収入合計 参加料	講師費用 協賛金 その他※
20	【障害者指導のための指導者講習会】 障害者指導を行う指導者を対象に、障害者の運動指導に必要な体力づくりやスポーツ活動の知識と指導技術を学ぶ機会を提供し、障害者の活動を支える指導者の育成に寄与する。	指導者	1回 1日	50			支出合計 収入合計 参加料	講師費用 協賛金 その他※
● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。 ● 「その他」については、具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。 ● 「6 収支計画(1)及び(2)」の金額と一致すること。				総合計	実施回数	参加人数	支出合計① — —	
				—	—	—	収入合計② — —	

提案課題3-1(1)別表 スポーツ振興事業の事業実施計画[平成31年度（2019年度）]

◆ 内 容

No	事業名及び内容	対象層	時 期 回数	1事業当たり 定員 参加料/人			収支計画
				支出合計	講師費用	材料費	
21	【高齢者指導のための指導者講習会】 高齢者指導を行う指導者を対象に、高齢者の運動指導に必要な体力づくりやスポーツ活動の知識と指導技術を学ぶ機会を提供し、高齢者の活動を支える指導者の育成に寄与する。	指導者	1回 1日	50			その他※
22	【ジュニア指導のための指導者講習会】 幼児・子供の指導を行う指導者を対象に、幼児・子供の心身の成長に必要なレクリエーションや身体活動等の知識と指導技術を学ぶ機会を提供し、ジュニアの活動を支える指導者の育成に寄与する。	指導者	2回 2日	60			その他※
23	【レク指導のための指導者講習会】 レクリエーション指導者を対象に、指導に必要な知識と指導技術を学ぶ講習の機会を提供し、地域におけるレクリエーション活動を支える指導者の育成に寄与する。	指導者	1回 1日	40			その他※
24	【AED(自動体外式除細動器)普及啓発講習】 スポーツ指導者等を対象に、救急の際に必要な知識と技能を学ぶ機会を提供し、スポーツの現場で効果的な救急活動を行える指導者の育成に寄与する。	指導者	1回 1日	40			その他※
25							支出合計① 収入合計②
● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。 ● ※「その他」については、具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。 ● 「6 収支計画(1)及び(2)」の金額と一致すること。				総 合 計	実施回数	参加人数	
				34	3,354		

### 提案課題 3 [スポーツの普及振興、利用者へのサービス向上等の事業に関する業務]

#### 1 事業の提供

##### (2) 自主事業

ニーズに対応した多様なプログラムで生涯スポーツの拡がりを支援します

- 施設の有効活用を図りながら、多様なスポーツニーズに対応した事業を開展します。
- 競技団体をはじめとする豊富なネットワークを生かし、高品質な事業を実施します。
- 身近なスポーツの場として、継続的なプログラムを開展し、スポーツ実施率の向上に寄与します。

##### 1 → 自主事業の基本的な考え方

- ・本施設の設置目的等の役割を前提に、施設の有効活用を図るとともに、都民のニーズに対応した魅力的なプログラムを開展し、多様なスポーツの普及振興を図ります。
- ・公共性を確保し、適切な料金設定とし、様々な世代が参加できる事業を開展します。
- ・これまでの経験と実績、豊富なネットワークを生かした専門性の高い競技団体等との連携により、高品質な事業を開展します。
- ・利用者ニーズに即したより良い事業とするため、PDCAサイクルの考え方に基づき、継続的な見直しや改善を行うことで、より効果的な事業としていきます。

##### 自主事業のポイント

###### 公共性の確保

- ・多様な年代
- ・適切な参加料

###### 多様なプログラム

- ・利用者ニーズ
- ・魅力的な内容

###### 高品質な事業

- ・優れた指導者
- ・専門性の高い団体

###### 身近なスポーツの場の提供

- ・継続的に参加可能なプログラム

###### 事業評価による継続的な改善

- ・PDCAサイクルによる見直し

##### スポーツに親しむ都民の増加

##### 2 → 具体的な事業展開

###### ■ 競技団体・関係団体との連携・協力による事業

- ・小学生・中学生の軟式野球東京都一を決定する「ジュニアベースボール大会」を（公財）東京都軟式野球連盟と連携して開催し、青少年の野球振興を図ります。
- ・「ダンススポーツカーニバル」を（公社）日本ダンススポーツ連盟と連携して行い、ダンススポーツの普及振興を図ります。
- ・陸上競技場や公園ジョギングコースを活用した「6時間耐久レース」や「駒沢ハーフマラソン」、「陸上記録会」を（公財）東京陸上競技協会の協力のもと開催し、スポーツ人口の拡大を図ります。
- ・公園協会、地元消防・警察・自衛隊と連携し、「防災フェスタ」を行い、防災公園として地震や火災などの防災に役立つイベントを開催します。

###### ■ 継続的なスポーツ実施に向けたプログラム

- ・子供向けプログラムとして、基礎的な運動能力、技術を伸ばす体操やラグビーの教室を行い、青少年に多様なスポーツ機会を提供します。
- ・働き盛り世代、女性、高齢者向けプログラムとして、バドミントンやバレーボール、卓球の教室、8人制サッカーの交流試合を行う「ソサイチリーグ」を開催し、スキルの向上とともに楽しみながら体力づくりを行い、継続的なスポーツの実施を推進します。

### 提案課題 3 [スポーツの普及振興、利用者へのサービス向上等の事業に関する業務]

#### 1 事業の提供

##### ■ 著名指導者、元プロ野球選手によるプログラム

- ・元オリンピックマラソン日本代表選手による子供向けランニング教室や、元プロ野球選手等による子供向け野球教室を開催します。
- ・両事業ともに、選手時代の経験に基づく実技指導等を通して、体力や技能の向上、スポーツの魅力を理解する機会を提供します。

##### ■ 身近なスポーツの場としてのプログラム

- ・トレーニングルーム内のスタジオで、グループエクササイズを実施し、日常的にスポーツができる場を提供することで、**スポーツ実施率の向上**に寄与します。
- ・健康増進や筋力増強、ダイエット、身体の調整、ストレス発散などを目的に、初心者から上級者、働き盛り世代、女性、高齢者などに向けた**利用者のニーズに応える豊富なメニュー構成**とします。

トレーニングルーム グループエクササイズ タイムスケジュール							
9:00	月	火	水	木	金	土	日
		9:45~10:45	9:45~10:45	9:45~10:45	9:45~10:45	9:45~10:45	9:45~10:45
10:00	健康体操	熟年者体操 (健美操)	健康体操	熟年者体操	ストレッチ & ウォーキング	エアロビクス (ビギナー)	熟年者体操
11:00	B+C (エアロ)	エアロビクス (ペーシック)	エアロビクス (ローインパクト)	B+C (ファットバーナー)	エアロビクス (レギュラー)	エアロビクス (レギュラー)	トータル カーディオダンス
12:00							
13:00	13:00~14:00 フラダンス エクササイズ		13:15~13:45 バラエティ エクササイズ	13:15~13:45 ボディ コンディショニング	13:00~14:00 らくらくヨガ	13:00~13:40 B+C (サークル)	13:10~13:50 骨盤体操
14:00	14:10~15:10 エアロビクス (ビギナー)	14:00~15:00 太極拳	14:00~15:00 ヨガ	14:00~15:00 ピラティス	14:10~15:10 B+C (エアロ)	14:00~15:00 ヨガ	14:00~15:00 エアロビクス (レギュラー)
15:00							
18:00							
19:00		19:00~20:00 ヒップホップ	19:00~20:00 パワーヨガ	19:00~20:00 トータルボディ コンディショニング		19:00~20:00 コアボクシング	19:00~20:00 B+C (ファットバーナー)
20:00	19:30~20:30 ステップアップ レジスタンス						
21:00							

グループエクササイズ タイムスケジュール

目的	プログラム名（一例）	内 容
健康増進	健康体操	・健康増進、障害の予防・改善を目的とし、楽しいエクササイズをご紹介します。特に中高年の方々にお薦めです。
筋力増強	トータルボディ コンディショニング 等	・全身の筋肉を効果的に鍛え、筋力・持久力向上を目指します。
ダイエット	ボディコンディショニング (ファットバーナー) 等	・エアロビクス動作の中でも特に筋肉に意識を集中し、体の中から脂肪燃焼を促進することを目的としています。
ストレス発散	コアボクシング 等	・本格的なボクシングで楽しく汗を流すクラス。同時に体幹部分（コア）を鍛え、全身のバランス調整も行います。

グループエクササイズの目的と内容(一部抜粋)

事業者名・団体名	公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ
----------	------------------------

**提案課題3-1(2)別表 自主事業の事業実施計画[平成31年度（2019年度）]**

◆ 内 容

単位：千円

No	事業名及び内容	時期回数	1事業当たり		収支計画		
			定員	観客数	支出合計	講師費用	材料費
1	「ジュニアベースボール大会」	1回 2日	16チーム 320	0	収入合計 参加料	入場料	その他※
2	「ジュニアラグビースクール」	1回 10日	60	0	支出合計 講師費用	材料費	施設利用料金 その他※
3	「駒沢チャレンジ体操教室」	3回 各10日 (計30日)	180	0	収入合計 参加料	入場料	その他※
4	「駒沢ランニングクラブ」	3回 各10日 (計30日)	180	0	支出合計 講師費用	材料費	施設利用料金 その他※
5	「ベースボールアカデミー（幼児・小学生Aクラス）」	1回 計45日	80	0	収入合計 参加料	入場料	その他※
● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。 ● 「その他※」の具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。		総合計		参加人数	入場料	その他※	収入総合計③
● 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画 ※(参考)自主事業及び利用者サービス事業の収支」の31年度の金額と一致すること。		—		—	—	—	—
● 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「6 収支計画(2)その他(G)」と金額が一致すること。		支出総合計②(①を含む。)		—	—	差引④((3)-(2))	—

提案課題3-1(2)別表 自主事業の事業実施計画[平成31年度（2019年度）]

◆ 内 容

単位：千円

No	事業名及び内容	時期回数	1事業当たり		収支計画		
			定員	観客数	支出合計	講師費用	材料費
6	「ベースボールアカデミー（小学生Bクラス）」	1回 計20日	80				その他※
	小学生を対象に、元プロ野球選手等による指導を通して、野球の技術向上と体力向上を図る。		0		収入合計 参加料	入場料	その他※
7	「スキルアップバドミントン」	1回 (10日)	50		支出合計 講師費用	材料費	施設利用料金 その他※
	バドミントン愛好者を対象に、バドミントンの基本・応用技術、戦術等のレベル別指導を実施する。		0		収入合計 参加料	入場料	その他※
8	「スキルアップ卓球」	1回 (10日)	50		支出合計 講師費用	材料費	施設利用料金 その他※
	卓球愛好者を対象に、卓球の基本・応用技術、戦術等のレベル別指導を実施する。		0		収入合計 参加料	入場料	その他※
9	「バレーボールコミュニケーション」	3回 各10日 (計30日)	180		支出合計 講師費用	材料費	施設利用料金 その他※
	女性バレーボール愛好者を対象に、バレーボールの技術向上と健康・体力の維持向上を図る。		0		収入合計 参加料	入場料	その他※
10	「ソサイチチリーグ」	20回 20日	320チーム 2,880		支出合計 講師費用	材料費	施設利用料金 その他※
	学生と社会人を対象に、8人制サッカー（ソサイチ）の試合を行い、他チームとの交流や継続的なスポーツの実施を促進する。		0		収入合計 参加料	入場料	その他※
● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。 ● 「その他※」の具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。 ● 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画※（参考）自主事業及び利用者サービス事業の収支」の31年度の金額と一致すること。 ● 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「6 収支計画（2）その他⑥」と金額が一致すること。				総合計	実施回数	参加人数	収入総合計①
				—	—	—	—
				支出総合計②(①を含む。)	支出総合計②(①を含む。)		差引④(③-②)
				—	—		—

**提案課題3-1(2)別表 自主事業の事業実施計画[平成31年度（2019年度）]**

◆ 内 容

単位：千円

No	事業名及び内容	時期回数	1事業当たり		収支計画			
			定員	観客数	支出合計	講師費用	材料費	
			参加料/人	入場料		参加料	入場料	その他※
11	「陸上記録会」	2回 2日	80	0	収入合計	参加料	入場料	その他※
12	マラソン愛好者を対象に、陸上競技長距離の記録を計り、練習の成果の確認、継続的なスポーツの実施を促進する。	1回 1日	300	0	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金
13	公園とスポーツ施設を一体利用したランニングイベントを実施し、日頃のランニングの成果を確認するとともにスポーツに親しむ機会を提供する。	1回 1日	40	0	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金
14	「駒沢ハーフマラソン」	1回 2日	1,000 (100組)	0	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金
15	東京マラソンの開催に合わせ、支援事業として、陸上競技場トラックを開放し、ランニング爱好者の練習場所を提供する。	1回 1日	500	0	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金
16	「駒沢6時間耐久レーマラソン（公園一体化事業）」	1回 1日	500	0	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金
17	陸上競技場と公園のジョギングコースを活用したランニングイベントを実施し、誰もが気軽にスポーツを楽しむ機会を提供する。	1回 1日	500	0	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金
18	「ダンススポーツパビール」	1回 1日	500	0	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金
19	ダンススポーツ競技者・爱好者を対象に、ダンススポーツ競技大会を実施し、ダンススポーツの普及と振興を図る。	1回 1日	—	—	支出総合計②((①)を含む。)	支出総合計④((③)-(②))	差引④((③)-(②))	—
20	内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。 「その他※」の具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画 ※(参考)自主事業及び利用者サービス事業の収支」の31年度の金額と一致すること。 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「6 収支計画(2)その他(G)」と金額が一致すること。	総合計	実施回数	参加人数	繰入額①	収入総合計③	—	—

提案課題3-1(2)別表 自主事業の事業実施計画[平成31年度（2019年度）]

◆ 内 容

単位：千円

No	事業名及び内容	時期 回数	1事業当たり		収支計画		
			定員	観客数	支出合計	講師費用	材料費
16	「防災フェスタ（公園一体化事業）」 公園、地元消防・警察等と連携し、防災公園にある体育施設などで、近隣住民等を対象に、防災・減災に役立つイベントを実施し、防災意識の向上を図る。	1回 1日	3,000	0	収入合計	参加料	入場料
17	「エアロビクス ピギナー」（60分） エアロビクスが初めてという方、まだ基本をしつかり行いたい方におすすめのクラスです。<初心者対象> ※トレーニングルーム利用者に対して実施	週2回 計100回	4,000	0	支出合計	講師費用	材料費
18	「エアロビクス ローランパクト」（60分） 走らないエアロビクスで、膝や腰への負担が少なく、ステップを中心に行なうミカナル(全身運動)を行います。<初・中級者対象> ※トレーニングルーム利用者に対して実施	週1回 計50回	2,000	0	支出合計	講師費用	材料費
19	「エアロビクス ベーシック」（60分） エアロビクスの基本動作を中心に行ないます。心地よい汗を流すのにおすすめです。<初・中級者対象> ※トレーニングルーム利用者に対して実施	週1回 計50回	2,000	0	収入合計	参加料	入場料
20	「エアロビクス レギュラー」（60分） ベーシックとハイランパクトの中間に位置する中級者向けのレッスンです。基本動作から徐々に多彩なコンビネーションを行ないます。 <中級者対象> ※トレーニングルーム利用者に対して実施	週3回 計150回	6,000	0	支出合計	講師費用	材料費
● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。 ● 「その他※」の具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。 ● 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画 （参考）自主事業及び利用者サービス事業の収支」の31年度の金額と一致すること。 ● 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「6 収支計画（2）その他(G)」と金額が一致すること。				実施回数	参加人数	繰入額①	収入総合計③
				総合計	—	—	支出総合計②(①を含む。)
					—	—	差引④(③-②)
					—	—	—

提案課題3-1(2)別表 自主事業の事業実施計画[平成31年度（2019年度）]

◆ 内 容

単位：千円

No	事業名及び内容	時期 回数	1事業当たり		収支計画		
			定員	観客数	支出合計	講師費用	材料費
21	「熟年者体操（健美操）」（60分） 高齢者の方々を対象に、呼吸、精神、身体の3つの調和で身体のバランスを整える体操です。<中高齢者対象> ※トレーニングルーム利用者に対して実施	週1回 計50回	2,000	0	収入合計	参加料	入場料 その他※
22	「ピラティス」（60分） インナー・マッスルを使ったストレッチを基本とし、呼吸法によって身体をリフレッシュさせる効果のある、関節や腰に無理のない運動です。<全般対象> ※トレーニングルーム利用者に対して実施	週1回 計50回	2,000	0	支出合計	講師費用	材料費 施設利用料金 その他※
23	「ボディコンディショニング エアロ」（60分） 楽しくエアロビクスをおこなうための基礎筋力向上を図るクラスです。エアロビクスの動きの中で、筋力バランスを整えていきます。 <初心者対象> ※トレーニングルーム利用者に対して実施	週2回 計100回	4,000	0	収入合計	参加料	入場料 その他※
24	「ボディコンディショニング フットバーナー」（60分） エアロビクス動作の中でも特に筋肉に意識を集中し、体の中から脂肪燃焼を促進することを目的としたクラスです。<全般対象> ※トレーニングルーム利用者に対して実施	週2回 計100回	3,000 (各屋40・夜20)	0	支出合計	講師費用	材料費 施設利用料金 その他※
25	「ボディコンディショニング サーキット」（40分） 筋力トレーニングと有酸素運動を組み合わせたクラスです。音楽についてトレーニングを行います。<全般対象> ※トレーニングルーム利用者に対して実施	週1回 計50回	1,000	0	支出合計	講師費用	材料費 施設利用料金 その他※
● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。 ● 「その他※」の具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。 ● 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画 （参考）自主事業及び利用者サービス事業の収支」の31年度の金額と一致すること。 ● 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「6 収支計画（2）その他（G）」と金額が一致すること。			総合計	実施回数	参加人数	繰入額①	収入総合計③ — — 差引④（③－②） —

提案課題3-1(2)別表 自主事業の事業実施計画[平成31年度（2019年度）]

◆ 内 容

単位：千円

No	事業名及び内容	時期 回数	1事業当たり		収支計画		
			定員	観客数	支出合計	講師費用	材料費
26	「太極拳」（60分） ゆっくりした動作を深呼吸に合わせて行い、気の通路の循環を良く保ち、骨格・筋肉・関節を鍛えて、バランス感覚を養います。<全般対象> ※トレーニングルーム利用者に対して実施	週1回 計50回	1,000	0	収入合計	参加料	入場料
27	「フラダンス エクササイズ」（60分） フラダンスの基本ステップを繰り返して代謝を上げていきます。上半身・下半身バラバラの動きで脳トレの効果もあります。ハワイアンに合わせてシンブルな振り付けを楽しめます。<全般対象> ※トレーニングルーム利用者に対して実施	週1回 計50回	1,000	0	支出合計	講師費用	材料費
28	「ヒップホップ」（60分） HIPHOPやR&Bなどの音楽に合わせてステップを踏み、ダンスを楽しむクラスです。<全般対象> ※トレーニングルーム利用者に対して実施	週1回 計50回	1,000	0	支出合計	講師費用	材料費
29	「トータルボディコントレーニング」（60分） 有酸素的筋肉トレーニングクラス。全身の筋肉を効果的に鍛え、筋力・持久力向上を目指します。自分のペースで行うので初めての方でも大丈夫です。<全般対象> ※トレーニングルーム利用者に対して実施	週1回 計50回	2,000	0	収入合計	参加料	入場料
30	「コア・ボクシング」（60分） 本格的なボクシングで楽しめます。同時に体幹部分（コア）を鍛え、全身のバランス調整も行います。<全般対象> ※トレーニングルーム利用者に対して実施	週1回 計50回	2,000	0	支出合計	講師費用	材料費
● 内容に記述すること。				総合計	実施回数	参加人数	収入総合計①
● 「その他」の具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。				—	—	—	—
● 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画 ※(参考)自主事業及び利用者サービス事業の収支」の31年度の金額と一致すること。				支出総合計②(①を含む。)	支出総合計④((3)-(2))	差引④((3)-(2))	—
● 繰入額①は、委託料算出の際に入り入れる額を記載し、「6 収支計画(2)その他(G)」と金額が一致すること。				—	—	—	—

提案課題3-1(2)別表 自主事業の事業実施計画[平成31年度（2019年度）]

◆ 内 容

単位：千円

No	事業名及び内容	時期回数	1事業当たり		収支計画				
			定員	観客数	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
31	「トータルカーディオダンス」 (60分) ダンスマームメントをメインとしたエアロビクスダンスクラス。馴染みのあるシンブルなエアロビクス動作からダンス動作につなぎ、様々なダンスバリエーションを踊ります。<全般対象> ※トレーニングルーム利用者に対して実施	週1回 計50回	2,000	0	収入合計	参加料	入場料	その他※	
32	「らくらくヨガ」 (60分) ヨガの呼吸法をたっぷり取り入れ、心身の調和をはかります。どんなにも気軽にご参加いただけます。<全般対象> ※トレーニングルーム利用者に対して実施	週1回 計50回	1,000	0	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
33	「ヨガ」 (60分) ヨガ特有のポーズ・瞑想・呼吸法で精神のリラクセーションを養うクラスです。<全般対象> ※トレーニングルーム利用者に対して実施	週2回 計100回	4,000	0	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
34	「パワーヨガ」 (60分) 呼吸に合わせて、様々なポーズを流れるように連続して行います。運動量が多いエクササイズの為「身体強化」と「集中力」を高めます。<全般対象> ※トレーニングルーム利用者に対して実施	週1回 計50回	1,000	0	收入合計	参加料	入場料	その他※	
35	「熟年者体操」 (60分) 高齢の方々を対象に、楽しく元気に体を動かす体操のクラスです。(高齢者を対象としていますが、どなたでも受講出来ます) <中高齢者対象> ※トレーニングルーム利用者に対して実施	週2回 計100回	4,000	0	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。 ● 「その他※」の具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。 ● 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画」 ※(参考)自主事業及び利用者サービス事業の収支」の31年度の金額と一致すること。 ● 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「6 収支計画(2)その他(G)」と金額が一致すること。				総合計	実施回数	参加人数	繰入額①	収入総合計③	
				—	—	—	—	—	
				支出総合計②(①を含む。)	—	差引④(③-②)	—	—	
				—	—	—	—	—	

提案課題3-1(2)別表 自主事業の事業実施計画[平成31年度（2019年度）]

◆ 内 容

単位：千円

No	事業名及び内容	時期回数	1事業当たり		収支計画		
			定員	観客数	支出合計	講師費用	材料費
36	「健康体操」（60分） 健康増進、障害の予防・改善を目的とし、楽しいエクササイズをご紹介します。特に中高年の方におすすめです。<全般対象> ※トレーニングルーム利用者に対して実施	週2回 計100回	4,000	0	収入合計	参加料	入場料
37	「ストレッチ＆ウォーキング」（60分） 前半はストレッチを中心に行い、ウォーキング等に必要な体幹を意識して行うクラスです。<全般対象> ※トレーニングルーム利用者に対して実施	週1回 計50回	2,000	0	支出合計	講師費用	材料費
38	「パラエクササイズ」（30分） 腰痛・肩こり・膝の痛みなどといった、障害別のエクササイズから気軽にできるトレーニングなど、毎月テーマ別に様々なエクササイズをご紹介します。<全般対象> ※トレーニングルーム利用者に対して実施	週1回 計50回	1,000	0	支出合計	講師費用	材料費
39	「骨盤体操」（45分） 日常生活で歪んだ身体をストレッチで改善し、新陳代謝を高め、老廃物を流し、筋力をつけていきます。ほぐれにくい骨盤まわりの内側の筋肉をわかややすく効果的にほぐします。<全般対象> ※トレーニングルーム利用者に対して実施	週1回 計50回	1,000	0	収入合計	参加料	入場料
40	「ステップアップレジスタンス」（60分） 体幹、脚の強化を狙い、ねじる＆跳ねる動きのバリエーションも加えて、筋力をつけるトレーニングです。<全般対象> ※トレーニングルーム利用者に対して実施	週1回 計50回	1,000	0	支出合計	講師費用	材料費
● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。 ● 「その他」の具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。		総合計	実施回数	参加人数	総入額①		
● 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画」 ※(参考)自主事業及び利用者サービス事業の収支」の31年度の金額と一致すること。 ● 繰入額①は、委託料算出の際際に繰り入れる額を記載し、「6 収支計画(2)その他(G)」と金額が一致すること。		—	—	—	収入総合計③		
		—	—	—	支出総合計②(①を含む。)		
		—	—	—	差引④((3)-(2))		
		—	—	—	—		

提案課題3-1(2)別表 自主事業の事業実施計画[平成31年度（2019年度）]

◆ 内 容

単位：千円

No	事業名及び内容	時期回数	1事業当たり		収支計画		
			定員	観客数	支出合計	講師費用	材料費
41	「ボディコンディショニング」（30分） 全身の筋力トレーニングを中心に行い、筋力・持久力の向上を目指します。<全般対象> ※トレーニングルーム利用者に対して実施	週1回 計50回	1,000	0	収入合計 参加料	講師費用 入場料	材料費 その他※
42					支出合計 講師費用	材料費 施設利用料金	その他※
43					収入合計 参加料	入場料	その他※
44					支出合計 講師費用	材料費 施設利用料金	その他※
45					収入合計 参加料	入場料	その他※
					支出合計 講師費用	材料費 施設利用料金	その他※
					収入合計 参加料	入場料	その他※
					支出合計 講師費用	材料費 施設利用料金	その他※
					収入合計 参加料	入場料	その他※
					繰入額①		収入総合計③
					参加人数		
					実施回数		
					総合計		支出総合計②(①を含む。)
					1,692	63,980	差引④(③-②)

- 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。
- 「その他※」の具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。
- 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画
- ※(参考)自主事業及び利用者サービス事業の収支」の31年度の金額と一致すること。
- 繰入額①は、委託料算出の際に入り入れる額を記載し、「6 収支計画(2)その他(G)」と金額が一致すること。

### 提案課題 3 [スポーツの普及振興、利用者へのサービス向上等の事業に関する業務]

#### 1 事業の提供

##### (3) 利用者に対するサービス提供事業

###### 利用者ニーズを的確に捉えスポーツ環境の整備を行います

- 気軽にスポーツを行うための環境を整備し、利用拡大を図ります。
- スポーツをする人や「みる」人に快適な環境を提供し、主催者の要望に柔軟に対応します。
- スポーツクラスターとして地域全体が活性化し、スポーツをする人が集まる空間を創出します。
- 利用者のニーズや大規模大会の運営等に柔軟に対応します。
- 地域環境に配慮した利用者サービスの提供と、地域コミュニティ連携による防災力の向上を図ります。

##### 1 気軽にスポーツを親しむための環境整備

###### ■ 気軽さを重視したサービス提供と利用拡大

###### (1) 個人用ロッカー等の設置（トレーニングルーム）

- ・シューズやスポーツ用品が保管できる個人用レンタルロッカーを設置し、普段スポーツに親しむ機会の少ない方でも、**仕事帰りに手軽に利用**できる環境を整えます。
- ・また、ランナーやサイクリストなどの公園利用者がランニングステーションとしてトレーニングルームでシャワーや更衣の利用ができるよう整備し、**公園全体が地域スポーツの拠点**として定着することを目指します。

###### (2) スポーツ用具等の貸出し

- ・トレーニングルーム利用者に対して、レンタルシューズ等を用意し、忘れ物をした方や手ぶらで来た方でも、いつでも、**気軽にスポーツに親しめる環境**を作ります。
- ・スポーツを始めるきっかけづくりとして誰もが気軽にはじめられるニュースポーツの用具等の貸出しを検討し、スポーツ・レクリエーションの普及とスポーツ実施率の向上に寄与します。

##### 2 快適に過ごすための環境と柔軟な施設提供

###### ■ スポーツをする人や「みる」人に快適な環境を提供し、主催者の要望に柔軟に対応

###### (1) 自動販売機の設置（各施設共通）

- ・スポーツを快適に楽しみ、観覧できるように**自動販売機を設置**します。また、**様々な利用者のニーズに応えるため**飲料だけではなくアイスクリームやスナックなどを提供し、憩いの場も提供します。
- ・「防災公園」の中にある施設として、災害時に柔軟に対応するため、災害対応自動販売機を導入し、施設利用者や地域住民のライフラインとして災害に備えます。
- ・利用者ニーズが高まっている**電子マネー対応型の自動販売機**を導入します。



災害対応自動販売機を設置

###### (2) 売店・カフェテリアスペースの提供

- ・体育館のカフェテリアスペースは、一般の来場者向けに自販機を設置し、飲食スペースとして**交流や安らぎの場を提供**します。大会等主催者には、物販や軽食・飲食サービスの提供など専用利用を可能とし、様々な要望に柔軟に対応できるフレキシブルな施設提供を行います。
- ・また、必要に応じ東京都と協議のうえ、東京 2020 大会の気運醸成のスペースとして、東京オリンピックメモリアルギャラリーと関連付けた整備を検討します。
- ・トレーニングルームにおいては、利用者の要望に応じ、タオル等のスポーツ用品やサプリメントなどの販売を行います。

### 提案課題 3 [スポーツの普及振興、利用者へのサービス向上等の事業に関する業務]

#### 1 事業の提供

##### 3 地域全体の賑わいを創出

###### ■ スポーツクラスターとして地域全体が活性化し、スポーツをする人が集まる空間を創出

###### (1) 写真・動画撮影等ロケ地

- 写真や動画撮影等のロケ地として開放し、本施設のブランディングを行い、**スポーツクラスターとしての魅力を発信します。**本施設に留まらず、駒沢地区全体を面的な広がりで活性化させます。

###### (2) イベントスペース・諸室等の提供

- 公園や施設全体を使用した大規模イベントや**駒沢地区全体の賑わいに供する催し物**の開催に際し、控室等として施設の一部を提供します。

##### 4 ニーズに応えた柔軟な運営

###### ■ 利用者のニーズや大規模大会の運営等に柔軟に対応

###### (1) 施設利用を促進するための駐車場運営

- 利便性向上を図り、施設の利用を促進するため、駐車場の運営を行います。

- 大規模大会等における搬入出や来場者の入退場等を考慮し、駐車場の一部を確保し、大会運営者に提供することにより、利用者の目的・用途に沿ったフレキシブルな対応を行い、円滑な行事運営をサポートします。
- 「障害者用スペース」は、大会運営に関わらず、対象者が駐車可能となるよう、**ユニバーサル対応を考慮した適切な運営**を行います。

###### (2) 利用団体用倉庫の貸出し

- 大きな荷物の運搬が必要な大会主催者等に対し、大会に使用する用具等を預かるための倉庫を貸出し、施設利用の促進につなげるとともに、利用者のニーズを的確に捉えます。

##### 5 地域環境への配慮とコミュニティ連携

###### ■ 地域環境に配慮した利用者サービスの提供と、地域コミュニティ連携による防災力の向上

- 地域住民や学校をはじめとする、地域コミュニティが半世紀以上の時間をかけ、培ってきた駒沢地区の地域環境を保全し、**地域コミュニティとの連携をより強固に育み**、サービスの提供を行ってまいります。
- 多くの**都民が憩い、集う場**として大会に支障のない範囲で余剰なスペースの開放を行い、過ごしやすい環境を整えます。
- 防災の知識を普及する「防災フェスタ」(前掲)を地域の住民や関係団体の協力を得て実施します。また、地域の防災に関する視察や学習会を積極的に受け入れるなど、**地域の防災力向上に寄与します。**
- 事業参加者や大会関係者等のニーズを把握し、託児サービスの設置等検討します。

**提案課題3-1(3)別表 利用者に対するサービス提供事業の事業実施計画[平成31年度(2019年度)]**

◆ 内 容

No	(目的、料金、提供方法、営業時間、運営体制等)	収支の積算根拠		指定管理者の収支計画	単位：千円
		(支出には、人件費及び消費税を含む。)	支出		
1	「個人用ロッカー等の設置」			支出	収入
1	シューズやスポーツ用品が保管できる個人用レンタルロッカーを設置し、手軽に利用できる環境を作ります。			支出	収入
2	「スポーツ用具等の貸出し」			支出	収入
2	レンタル用のスポーツ用具（シューズ等）を用意し、いつでも、気軽に、手ぶらでも立ち寄れる環境を作ります。			支出	収入
3	「自動販売機の設置」			支出	収入
3	利用者がスポーツをより安全・快適に楽しむことができる環境整備の一環として、各所に自動販売機を設置します。また、災害対応販機も設置し、災害時の飲料水確保にも対応します。			支出	収入
4	「売店・カフェテリアースペースの提供」			支出	収入
4	大規模行事の来場者等に軽食・飲食サービス等を提供するため、主催者の希望等に柔軟に応え、場所の提供等を行ってまいります。			支出	収入
5	「写真・動画撮影等口ヶ地」			繰入額①	収入総合計③
5	施設において雑誌などの写真やテレビ・映画撮影の動画など、撮影施設を希望する団体等に撮影協力を行います。学術研究、報道関係の取材、本施設の広報に寄与すると認められる時は内容審査の上、無償対応とします。			支出総合計② ((①を含む。))	差引④((③-②))
	● 利用者サービス事業の具体的な提案を記述すること。			—	—
	● 「収支計画」は、指定管理者の年間収支を記述すること。			—	—
	● 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画 ※(参考)自主事業及び利用者サービス事業の収支」の31年度の金額と一致すること。			—	—
	● 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「5 収支計画(2)その他(G)」と金額が一致すること。			—	—

提案課題3-1(3)別表 利用者に対するサービス提供事業の事業実施計画[平成31年度（2019年度）]

◆ 内 容

NO	事業名及び内容 「イベントスペース・諸室等の提供」	(支出には、人件費及び消費税を含む。)		指定管理者の収支計画 支出 収入
		支出	収入	
6	公園や施設全体を使用した大規模イベントや駒沢地区全体の賑わい、に供する催し物の開催に際し施設の一部を提供します。			
	「駐車場の運営」			
7	利用者の利便性向上のため、駐車場の運営を行います。専用駐車場は貸し出し時間を24時間、きりんパークシングは貸出時間を原則7時～23時とします。			
	「利用団体用倉庫の貸出し」			
8	大きな荷物の運搬が必要な大会主催者等に対し大会に使用する用具等を預かるための倉庫を貸出します。			
9				
10				
	利用者サービス事業の具体的な提案を記述すること。 「収支計画」は、指定管理者の年間収支を記述すること。	繰入額①	収入総合計③	
	支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画 ※(参考)自主事業及び利用者サービス事業の収支」の31年度の金額と一致すること。	支出総合計② (①を含む。)	差引④(③-②)	
	繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「5 収支計画(2)その他(G)」と金額が一致すること。			

- 利用者サービス事業の具体的な提案を記述すること。
- 「収支計画」は、指定管理者の年間収支を記述すること。

- 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画 ※(参考)自主事業及び利用者サービス事業の収支」の31年度の金額と一致すること。

- 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「5 収支計画(2)その他(G)」と金額が一致すること。

### 提案課題 3 [スポーツの普及振興、利用者へのサービス向上等の事業に関する業務]

#### 2 施設の事業を支える仕組み

##### (1) 広報

各種媒体を活用し、東京都の一大スポーツ拠点としての魅力をアピールしていきます

- ホームページやメールマガジン、SNSなど、各種媒体を最大限活用します。
- 利用者に対する分かりやすい情報ツールの作成により利便性の向上を図ります。
- 区の広報誌や公園内や商店街の掲示板等を活用し、東京都のスポーツ振興に寄与します。

##### 1 施設の魅力をアピールするための方策

###### ■ 各種媒体による多様な広報展開

- ・メールマガジン、Facebook、Twitter や代表団体 A の広報誌「スマイルスポーツ」を活用し、施設、イベント、各種事業の PR とともに、東京都の事業をはじめラグビーワールドカップ 2019™及び東京 2020 大会の気運醸成に寄与します。
- ・本施設専用のホームページやスマートフォンサイトを活用し、利用者が必要とする情報を容易に取得できるよう構築し、魅力的な情報を発信します。
- ・施設の概要や事業、利用案内、休館日など基本的な情報を確実に掲載するとともに、突発的な情報を迅速に発信するためサイト管理システムを構築し、現場の職員それぞれが速やかに更新できる体制を整えます。
- ・広くスポーツ振興とつながる情報を掲載するため、代表団体 A が運営する外部サイト (<http://smilesports.jp/>) 等を活用し、各種事業等の積極的な訴求拡大を図るとともに、スポーツ実施率の低い世代が 24 時間いつでも事業に申込みができる体制を整え、日中は専用の電話窓口を設置します。
- ・誰もが見やすいホームページとするため、ウェブアクセシビリティの向上を図り、JIS 規格の適合レベル AA に準拠するだけでなく、適合レベル AAA の追加達成を目指します。
- ・各施設に設置された掲示板等を活用し、本施設の貸出状況やスポーツ振興の PR、周辺地域のイベント等多彩な情報を発信します。また、個人使用施設で実施する教室事業や休館日など、タイムリーな情報発信に努めます。



代表団体 A が運営するサイト

###### ■ 施設利用ガイド作成による情報ツールの提供

- ・本施設の概要や利用状況等をわかりやすくまとめた「要覧」を毎年度発行し、各関係行政機関等に配布するほか、必要に応じて、利用者に配布します。
- ・本施設の様々な施設・設備の利用方法について、わかりやすくまとめた施設利用ガイドを作成し配布します。

###### ■ 東京都や組織委員会の広報活動への協力

- ・東京都が行う広報活動は、本施設及び本施設が実施する事業を PR する必要かつ重要な機会であり、チラシの送付やプレス記事の作成、現地取材等に対して、積極的に協力します。
- ・東京オリンピックメモリアルギャラリーを活用し、東京 2020 大会の開催気運の醸成に向けた広報活動に対して柔軟に対応します。

###### ■ 周辺地域に対するより身近で効果的な広報の実施

- ・防災訓練や施設利用で築き上げた関係を活かし、目黒区・世田谷区広報に東京オリンピックメモリアルギャラリーや各種事業の告知掲載を協力いただくとともに、公園内の掲示板、地区商店街等の掲示板を活用して、ローコストで効果の高い広報を実施していきます。
- ・同様に地元小中学校を通じ、事業のチラシを子供たち及び子育て世代への個別配布を実施していきます。



区の掲示板・広報誌

### 提案課題 3 【スポーツの普及振興、利用者へのサービス向上等の事業に関する業務】

#### 2 施設の事業を支える仕組み

##### (2) 業務の品質管理

サービスレベルマネジメント並びにPDCAサイクルにより業務改善を実施します

- 利用者の声を集め、それを体系的に業務改善につなげます。
- サービスレベルマネジメントを構築し、業務の効率化と管理運営の質の向上につなげます
- PDCAサイクルに基づき継続的な見直しを行い、サービスのさらなる向上につなげます。

##### 1 利用者満足度向上への具体的な取組

###### ■ 多様な方法によるニーズや要望の把握と改善策の検討

- ・ご意見箱の設置、日報等による情報収集、利用者満足度調査による潜在化している利用者のニーズを把握します。
- ・利用者懇談会により業務の履行状況を確認し、透明性を確保するとともに、施設からの情報提供により利用者の不安要素や疑問点等を解決していきます。
- ・各業務責任者を中心とする実務担当者会議やグループ各団体の責任者で構成されたコンソーシアム会議にて情報の共有化を図り、改善策を検討していきます。
- ・代表団体Aが管理している都立スポーツ施設の代表が集まる経営会議並びに東京都で実施するパートナーシップ会議で事例を共有することで、本施設を含めた都立スポーツ施設全体の対応スキルの水準を向上させるとともに、より一層の施設内サービスを充実します。

###### ■ 代表団体Aによる駒沢式のサービスレベルマネジメントを新たに構築、実施

- ・主にITサービスの委託者と受託者間で品質合意のために取り交わせるサービスレベルアグリーメントの主旨に鑑み、駒沢式のサービスレベルマネジメントの概念を構築し、実践します。

##### (1) 業務の効率化と管理運営の質の向上

- ・代表団体Aのマネジメントにより、各構成団体やその再委託企業の業務について、契約に関わる業務が公正かつ適正に行われているか確認し、部材調達等の合理化、透明性の向上、費用の低減、環境配慮等の観点から評価、年度予算策定時に検証し、業務の効率化に役立てます。
- ・各構成団体の実施するサービス・品質の確保について、利用者のニーズにマッチしているか定期的な実務担当者会議で検討し、情報共有と高次元の品質管理を実施します。

##### (2) 要求レベルの認識を同一にします

- ・東京都の求める指定管理業務の質について、代表団体Aが中心となり日常の情報交換、検査対応等により把握し、起こりうる認識の違いをこれまでどおり無くしていきます。
- ・コンソーシアム団体間においては、様々な場面で信頼関係を構築しており、認識の違いが発生するリスクは少ないものの、今後も綿密な打ち合わせ等により質の高い業務水準にレベルを合わせていきます。
- ・その他、指定管理受託期間に起こりうる社会の環境変化、コスト構造の変化等にも対応し、年度毎に業務の見直しを実施します。

###### ■ PDCAサイクルに基づく継続的な業務改善と内部共有

##### (1) 継続的な業務改善の実施

- ・業務改善の結果については、PDCAサイクルに基づき見直しを行い、継続的な業務改善と一層のサービス向上につなげていきます。

##### (2) 業務改善の徹底した情報共有

- ・業務改善の実施結果は必要に応じて東京都に速やかに報告するとともに、利用者への情報開示に努めます。また、朝礼等での申し送りのほか、研修会の開催、マニュアルの改訂などにより、全スタッフに周知徹底を図ります。



PDCAサイクルに基づいた継続的な改善

## 提案課題 4 [組織及び人材]

### 1 効果的かつ効率的な組織体制の確保

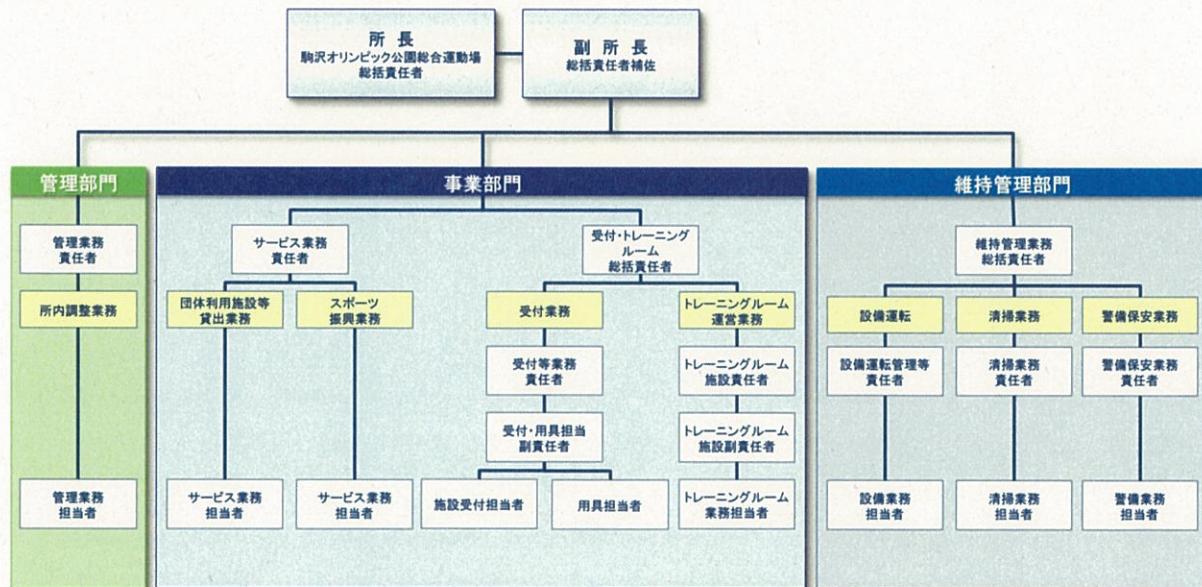
業務ごとにライン化した組織体制による効率的・効果的な施設運営を行います

- 総括責任者である所長をトップ、副所長を総括責任者補佐とし、業務ごとにライン化した簡明な組織体制とします。
- グループ各団体の特長(メリット)を生かし、経験と専門性を備えた人員を配置します。
- 大規模大会や緊急時・災害時には、グループ各団体のバックアップ体制により柔軟に対応します。
- 過去三期の指定管理者としての管理で培ったノウハウやネットワークを生かし、効果的な運営を行います。

### 1 組織運営体制

#### ■ 業務ごとにライン化した簡明な組織体制

- ・施設の総括責任者である所長をトップ、副所長を総括責任者補佐とし、業務ごとにライン化した簡明な組織体制とします。
- ・業務ごとに責任者を配置し、組織内での役割分担を明確化し、確実かつ効率的に業務を遂行します。
- ・各ラインには、グループ各団体の人的資源を活用し、業務内容に応じて経験・知識・技能を有する人員を配置します。
- ・各ラインやグループ内の連携体制、委託事業者に対する管理体制等を整えることで、**業務間のすき間をなくし**、効果的な施設運営を行います。
- ・東京 2020 大会に向けた東京都や組織委員会、関連機関等との連絡・調整・報告に万全な体制を整備します。
- ・大規模大会開催時や緊急・災害時には、グループ各団体からのバックアップ体制を構築し、柔軟な人員体制を整え、不測の事態にも備えます。
- ・本施設は駒沢公園内にあり施設も多数管理していることから、公園協会や各施設各部門とのコミュニケーションを図り、全スタッフがお互いの業務内容を理解した上で、日々の運営に取り組んでいきます。



駒沢オリンピック公園総合運動場 管理運営の組織体制図

### 2 各部門の人員配置

#### ■ 適切な人員配置

- ・類似施設の管理運営実績を生かし、ノウハウに基づく利用者数予測を踏まえた、管理運営・安全確保に必要な人数を配置します。
- ・国際大会等の大規模イベント開催時は、本施設スタッフに加え、グループ各団体からの応援も交えた万全の体制を構築し、主催者への協力をを行い、大会運営をサポートします。

## 提案課題 4 [組織及び人材]

### 1 効果的かつ効率的な組織体制の確保

#### ■ 配置する人員

- ・本施設の「業務内容及び管理運営の基準」に基づく資格要件を満たしたスタッフを適切に配置するとともに、上位資格の取得など、さらに層の厚い組織とするための支援を行い、運営の品質を高めます。
- ・過去三期にわたり本施設を管理していることから、公園利用を含む大型イベントに関する施設運営業務、スポーツ振興事業実施業務、施設の維持管理業務等に現に従事し、知識・技能に加え経験を備えた人材を配置することで、円滑な管理及び運営を可能とします。

### 3 情報伝達がスムーズな組織体制

#### ■ スタッフ間の円滑なコミュニケーションを促進する組織体制を確立

- ・業務ごとに定期的な打合せを行い、スタッフ間のコミュニケーションを促進します。
- ・管理運営状況についての共通認識を図るほか、課題や要望・苦情の対応策について、業務責任者主導のもと、スタッフ間で検討を行います。
- ・随時、各部門責任者による打合せや、「実務担当者会議」で協議し、施設運営の改善につなげていきます。

#### ■ 報告・連絡・相談の6つの視点

- ・情報伝達をスムーズに行い、コミュニケーションのとれた職場環境を維持するため、右の6つの視点に立ったスタッフへの教育を、OJTを中心に行っていきます。

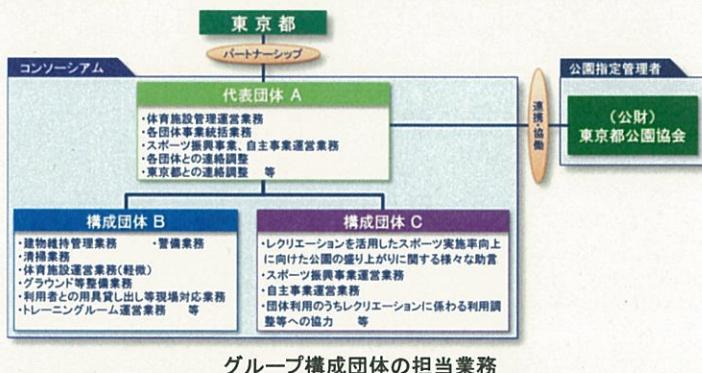
報告・連絡・相談の6つの視点

- ① 問題点を明確にする
- ② 緊急性を判断する
- ③ 直接「報告・連絡・相談」する
- ④ 要点を簡潔にまとめる
- ⑤ 相手の立場を尊重する
- ⑥ 問題や相談者をフォローする

### 4 グループ内の責任分担と連携体制の確保

#### ■ 会議を通じた情報共有体制の確立

- ・当グループは、下図に示す各々の担当業務について、全面的に責任を持ちます。
- ・代表団体 A は、東京都との連絡調整及び構成団体内の連絡調整を行うとともに、施設運営全般を総括します。
- ・日常業務は、各構成団体の責任のもとに行いますが、「実務担当者会議」やコンソーシアム会議を通じて、構成団体間のコミュニケーションを図り、全スタッフがお互いの業務内容を理解したうえで、日々の運営に取り組んでいきます。



グループ構成団体の担当業務

### 5 東京都への連絡・調整・報告体制の確立

#### ■ 窓口を一本化

- ・管理業務責任者が東京都への連絡窓口業務を担当するほか、緊急時は、副所長から都に報告する体制とします。

#### ■ 東京都への連絡・調整・報告体制の確立

- ・代表団体 A が管理運営している施設が東京 2020 大会の競技会場であることから、東京都や組織委員会をはじめとする様々な関係機関等からの視察や打合せなどに的確に対応するため、代表団体 A に専任の担当者を配置しています。
- ・その他、必要に応じ大規模大会の調整等において、東京都と綿密な情報交換、意思疎通のもと、関係団体等との調整を実施します。

提案課題 4-1 別表 各部門の所要人員

役 職	担当業務内容 (具体的に記入してください。)	能力・資格 実務経験年数等	雇用形態			1週間の 勤務時間	備考
			常勤	非 常勤	委託		
施設配置人員	所長						
	副所長						
	管理業務責任者						
	管理業務担当者						
	サービス業務責任者						
	サービス業務担当者						
	サービス窓口担当者						
	維持管理業務 総括責任者						
	設備運転管理等業務 責任者						
	設備業務担当者						
	警備保安業務責任者						
	警備業務担当者						
業務委託	清掃業務責任者						
	受付等業務責任者						
	受付、用具担当 副責任者						
	施設受付担当者						
	用具担当者						
	トレーニングルーム 施設責任者						
	トレーニングルーム 施設副責任者						
	受付従事者（トレー ニングルーム）						
	トレーニングルーム 業務担当者						
	清掃業務担当者						

## 提案課題 4 [組織及び人材]

### 2 明確な責任体制の構築

#### 所長を中心とした明確な責任体制を構築

- 業務全般の総括責任者である所長をトップ、副所長を総括責任者補佐に業務ごとにライン化した体制とします。
- 業務権限と責任の範囲を明確化し、適切な業務執行と危機管理を徹底します。

#### 1 責任者の役割

- ・施設の業務全般を統括する責任者として、所長を配置します。
- ・所長のもと業務ごとにライン化し、それぞれの総括責任者が、業務の進行管理、スタッフへの指示、各部門間の調整等を行います。

	役職名	主な業務内容
代表団体	所長・本施設総括責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本施設業務全般の責任者</li> <li>・個人情報保護管理責任者</li> </ul>
	副所長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理部門・事業部門全般の責任者及び所長の補佐</li> </ul>
	管理業務責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理運営業務の責任者</li> <li>・東京都との連絡調整</li> <li>・コンソーシアム構成団体間並びに公園協会等関係部署との調整業務の責任者</li> <li>・管理業務担当者への業務指示等</li> </ul>
	サービス業務責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・陸上競技場、体育館、屋内球技場、第一球技場、第二球技場、補助球技場、硬式野球場、軟式野球場、テニスコート、弓道場及び東京オリンピックメモリアルギャラリーの運営業務統括責任者</li> <li>・施設及び付帯設備の使用承認、利用団体との連絡調整の責任者</li> <li>・スポーツ振興事業、自主事業の企画及び運営の責任者</li> </ul>
団体及び個人使用	受付等業務責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育館、屋内球技場、第二球技場、補助球技場、硬式野球場、弓道場及び東京オリンピックメモリアルギャラリーの相談窓口・受付での施設利用受付案内業務責任者</li> <li>・コンソーシアム構成団体間の調整業務</li> <li>・代表団体 A との連絡・相談窓口</li> <li>・受付案内業務担当者に対する人材育成及び業務指示等</li> <li>・陸上競技場、体育館、屋内球技場、第一球技場、第二球技場、補助球技場、硬式野球場、軟式野球場、テニスコートにおける用具点検、グラウンド整備等の業務指示等</li> </ul>
	トレーニングルーム施設責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トレーニングルーム・スタジオ等でのスクールや教室などの業務統括責任者</li> <li>・トレーニングルーム個人情報管理責任者（情報管理の実務運用責任者）</li> </ul>
維持管理	維持管理業務総括責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・維持管理業務全般の責任者</li> <li>・各種点検作業等の日程調整</li> <li>・各業務の履行状況確認</li> <li>・グループ構成団体間の調整業務</li> <li>・代表団体 A との連絡・相談窓口</li> <li>・受付・トレーニングルーム総括責任者兼務</li> </ul>
	設備運転管理等責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設備担当者への業務指示等</li> <li>・定期（法令・自主）点検の日程調整等</li> <li>・簡易修繕の実施</li> <li>・省エネルギーの推進等</li> </ul>
	清掃業務責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃担当者への業務指示等</li> <li>・重点清掃箇所等の確認</li> <li>・定期作業の日程調整</li> <li>・清掃作業時の立会い及び履行確認</li> </ul>
	警備保安業務責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・警備担当者への業務指示</li> <li>・構成団体 B 本社警備保安部との報告・相談窓口</li> <li>・教育訓練の日程調整</li> </ul>

各業務の責任者と主な業務内容

事業者名・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ

## 提案課題 4 [組織及び人材]

### 3 適切な勤務体制等

#### 適切な勤務体制・人員配置による業務品質の確保を行います

- 関係法令を遵守し、無理のない適切な勤務ローテーションを組むことで業務品質を確保します。
- 大規模大会を対応してきたノウハウを生かし適正な人員配置により、様々な事案に対応します。
- ライフ・ワーク・バランスを踏まえた働きやすい労働環境を整備し、効果的・効率的な業務を遂行します。

#### 1 適切な勤務体制と人員配置の最適化

##### ■ 適切な勤務体制の構築と、柔軟な人員配置による業務品質の確保

- ・勤務シフト間で引継事項を共有し、スタッフの業務品質の確保と質の高いサービスを提供します。
- ・大規模イベント開催時等には、ノウハウを生かした規模・観客者数の予測に基づき、必要に応じて当グループを挙げての応援スタッフの投入により人員を確保し、最適な人員配置を行います。

##### ■ ライフ・ワーク・バランスの取れた働きやすい労働環境の創出

- ・関係法令等を遵守し、適正な労働時間、有給休暇の付与、福利厚生等の実施と、産業医による健康相談、健康診断結果を踏まえた指導などを実施します。
- ・育児や介護に係る休暇制度など、男女ともに働きやすい職場環境を整備します。
- ・新卒・既卒学生就職サイトを活用した職場情報提供を行い、若年層の雇用を推進します。

##### ■ 大規模大会開催日、通常営業時の勤務体制

## 提案課題 4 [組織及び人材]

### 4 人材育成の取組

充実した教育研修を通じ総合スポーツ施設にふさわしいスタッフを育成します

- 目標管理制度導入によりモチベーションと業務の質の向上を図ります。
- 東京 2020 大会と大会後を見据え、英会話や障害者対応等に係る研修を導入し、外国人や障害者等対応への取組と、ダイバーシティへの意識向上を図ります。
- 公共施設管理運営に必要な研修の計画的な実施と、資格取得研修推奨等により、スタッフの資質・能力の向上を図ります。

#### 1 東京 2020 大会と大会後のレガシーを見据えた人材育成

##### ■ 目標管理制度の導入

- ・スタッフ全員に目標管理制度を導入します。
- ・責任者との個別面談を実施し、自己の目標の設定サポートと業務の質の向上をリンクさせることで、スタッフのモチベーションアップと、技術や能力の向上を図ります。

##### ■ 外部研修・資格取得の奨励

###### (1) 外国人対応研修の実施

- ・ラグビーワールドカップ 2019™ 及び東京 2020 大会等の開催を契機に外国人の増加が予想されることから、外国人に対応できるよう、英会話研修制度を実施します。

###### (2) 障害者対応研修の導入

- ・障害のある人や高齢者など相手の視点に立って、「こころづかい」をもって行動できるよう体系的に行動するため、研修によりユニバーサルマナー検定を定期的に取得します。

###### (3) 接遇研修の実施

- ・東京 2020 大会等の開催を踏まえ、誰もが快適に利用できる施設運営のため接遇研修を実施します。

###### (4) 計画的な研修の実施

- ・年間を通じて計画的な研修を行い、スタッフの資質向上と、効率的な業務運営を行います。
- ・スタッフの目標への取組、自主的なスキルアップや資格の取得などを支援するため、外部の研修への参加を積極的に奨励します。

##### ■ 主な教育・研修

区分	研修名	研修内容	回数	専門研修 (担当業務名)
全体研修	新任研修	・スタッフとしての基礎	1回/年	—
	接遇研修	・接遇教育、苦情・要望対応 ・クレーム対応の心構え・注意点	1回/年	—
	救命講習	・応急措置法、心肺蘇生法、自動体外式除細動器（AED）技能取得	2回/年	—
	個人情報保護研修	・個人情報保護体制 ・Pマーク制度	2回/年	—
	ユニバーサルマナー研修	・障害者等対応、人権、多様性の理解等 ・ユニバーサルマナー検定取得	1回/年	—
	コンプライアンス (法令遵守)	・法令及び規則等の確認 ・コンプライアンス教育の徹底	2回/年	—
	英会話研修	・外国人対応の基礎	随時	—
	危機管理対応研修 (避難誘導訓練)	・緊急時対応（防災・防犯）	2回/年	—

主な教育・研修(その1)

事業者名・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ

提案課題 4 [組織及び人材]

4 人材育成の取組

区分	研修名	研修内容	回数	専門研修 (担当業務名)
業務別研修	マネジメント研修	・シフト編成、管理方法 ・採用、研修方法	随時	各業務責任者
	オペレーションスキル研修	・各種受付方法 ・館内利用説明方法	随時	受付業務スタッフ 警備スタッフ
	体育施設管理資格研修	・体育施設管理に関する専門員養成	随時	用具業務担当者
	専門知識研修 (トレーニング)	・トレーニング方法、マシン操作等	随時	トレーニングルーム スタッフ
	フォローアップ研修 (トレーニング)	・業務マニュアルに沿って意思統一 ・質の向上	1回/月	トレーニングルーム スタッフ
	警備講習	・警察OBでもある警備員指導教育責任者による監視、トラブル・利用者対応について	1回/年	トレーニングルーム スタッフ
	指定管理者講習	・指定管理者としての心構え ・施設の設置目的達成ための検討	2回/年	各業務責任者
	顧客満足度(CS)について	・マニュアルによる接遇研修 ・CS向上に向けての取組み検討 ・苦情処理方法の確認	2回/年	受付業務スタッフ
	環境への配慮	・省エネルギーの徹底 ・ISOの展開について	2回/年	設備業務スタッフ
その他	外部研修への派遣	・資格取得または上級資格取得のための講座・研修への参加	適時	研修内容による

主な教育・研修(その2)

## 提案課題 5 [施設の維持管理その他管理運営に関する業務]

### 1 施設、附属設備及び物品の維持管理

#### (1) 施設、附属設備及び物品の維持管理

老朽化した施設において起こりうる修繕を想定した効果的な維持管理を展開します

- 本業務に長年従事してきた経験とノウハウを生かし、着実に業務を遂行します。
- 予防保全を基本に計画的な業務遂行により、施設の長寿命化とライフサイクルコストの縮減を図ります。
- 有資格者を適切に配置し、PDCAサイクルを活用して、業務品質を確保します。

#### 1 施設設備及び物品の維持管理の基本的な考え方

##### ■ 維持管理方針

- ・竣工より 50 年を経過する施設も多く、これまで施設保全業務に従事してきた職員により長年培ってきた経験とノウハウを生かします。
- ・施設を熟知したスタッフの知見を生かし、日常点検による日々の管理に加え、月 1 回の「安全パトロール」を実施して、各施設の問題箇所を発見し、緊急対応、東京都への補修要望を行います。
- ・公益法人として予防保全を基本に長期的な視点に立った維持管理と、東京都の改修計画に則りライフサイクルコストの縮減も考慮に入れた延命措置等、バランス良く業務を遂行します。
- ・保守点検記録（日報・月報・機器運転データ・修繕・更新の実績等）、LCC 情報（光熱水費・修繕履歴）、建物情報等をデータベースで一元管理し、迅速かつ適切に、業務に反映させます。
- ・業務に必要な有資格者を配置し、日常の保全業務内で簡易な修繕作業に積極的に取組みます。

※有資格者の一覧につきましては、提案課題 4-1 別表 各部門の所要人員をご参照ください。



ライフサイクルマネジメントの概念

#### 2 きめの細かい維持管理と快適な施設管理

##### ■ 各業務における取組み

###### (1) 施設保全業務

- ・業務マニュアル、業務計画書（日常、月間、年間）、保全計画、体制表を作成し、日常点検・定期点検を実施します。
- ・仕様書に求められた点検のほか、休館日や予約の入っていない空き時間帯を利用した設備・機器の自主点検を実施します。



機器の自主点検の様子  
(本施設)

###### (2) 清掃業務

- ・ドアノブやテーブル等の多くの利用者が触れる部分（コンタクトポイント）を、殺菌効果のある薬剤を使って清掃します。
- ・建築物清掃管理評価資格者（1 級）による品質評価（インスペクション制度）を実施し、最適な清掃方法と継続的な品質向上を図ります（4 回/年）。



品質評価(インスペクション)の様子  
(本施設)

###### (3) 保安警備業務

###### (4) 植栽管理業務

- ・公園並びに周辺居住地区との景観に調和する樹形の維持と、ランニングコースに係る樹木の安全性の確保、植物の成長段階に応じた育成管理の 3 つの視点に立った管理を行います。

##### ■ 施設ごとの公認取得に向けての整備

- ・陸上競技場の（公財）日本陸上競技連盟第 2 種公認に関し、平成 32 年度以降の継続取得に向け、レーンの状態により随時補修を実施するほか、競技ルール変更に伴う対応についても、東京都と協議のうえ柔軟に対応します。
- ・第二球技場、補助競技場における、（公財）日本サッカー協会公認更新に向け、人工芝ピッチの維持、日常的な補修による、補修箇所の広がり防止対策などきめ細かくかつ着実に実施していきます。

## 提案課題 5 [施設の維持管理その他管理運営に関する業務]

### 1 施設、附属設備及び物品の維持管理

#### ■ スポーツターフ等の維持管理

- ・陸上競技場天然芝は、全国高校サッカー選手権大会のテレビ中継などでそのピッチ状態を称賛されてきました。日照時間や風向きなど駒沢の気候を知り尽くした職員が、夏芝と冬芝の切り替え時期、種子散布の回数、施肥散布の時期、生成方法やディポット修正、捕植等の作業を生育状況に応じてきめ細かく判断し実施します。
- ・利用調整により芝の養生期間も設定し、常緑天然芝を維持していきます。
- ・屋内球技場屋上緑化に関しては、円形カーブ状の屋根に大規模な緑化を施した事例は全国的にも少なく、鳥害被害や、種子の飛散、土壌の流失などが起こりやすい状態であり、スタッフと作業内容を慎重に検討しながら保全を行います。また、灌水システムの雨水利用や試行的に日照時間によって散水量を調節するプログラムを設置し、水道使用量の抑制にもつなげます。

主な作業項目	具体的な内容
陸上競技場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間計画管理計画表を作成し、ボール競技刈り高を競技種目に支障がないよう刈り込む</li> <li>・4月～6月、冬芝（ペレニアルライグラス）を低刈、夏芝（ティフトン）に日照を与え、自然切り替え</li> <li>・9月、冬芝の播種（ピンスパイク、播種及び施肥、オーバーシードの順）</li> <li>・芝草の育成状況、季節に応じて肥料の種類を検討の上散布</li> <li>・生育環境及び見栄えを考慮し、フィールド内で目立たない箇所からDポット芝補植</li> <li>・ダメージの大きい大会開催時にはデボット等を速やかに補修。ダメージの拡大を防止</li> <li>・芝の生育状況と気候に応じて、除草及び散水等芝生の健康な育成管理</li> <li>・大会開催時に団体からの要望があるときは、競技用ライン及びブライトライン引く</li> </ul>
軟式野球場 ・弓道場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間計画管理計画表を作成し、ボール競技刈り高を競技種目に支障がないよう刈り込む</li> <li>・芝の生育状況と気候に応じて、除草及び散水等芝生の健康な育成管理</li> </ul>
屋内球技場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生成量の片寄、鳥被害、土壌流出、病虫害等について監視</li> <li>・施肥の際は来園者の影響を考慮し、立入禁止区域設定をして実施</li> <li>・手抜き除草、灌水システムの監視</li> </ul>

スポーツターフ等管理業務の作業項目と内容

### 3 備品の管理

#### ■ 点検・記録による管理

- ・東京都が調達した備品は、定期的に品名、規格、数量、金額、購入年月日、使用場所、使用状況等を確認します。
- ・定期的な棚卸しと 6 つの視点に立った性能確認を日常的に行い、東京都が調達した備品の破損や不具合、また移動や変更等が生じた際は速やかに東京都に報告します。
- ・当グループが設置する備品も同様に、台帳を整備しデータベースにより管理します。
- ・特に競技用備品等については、貸出の前後に必ず状態を点検し、事故等の恐れがないか確認します。

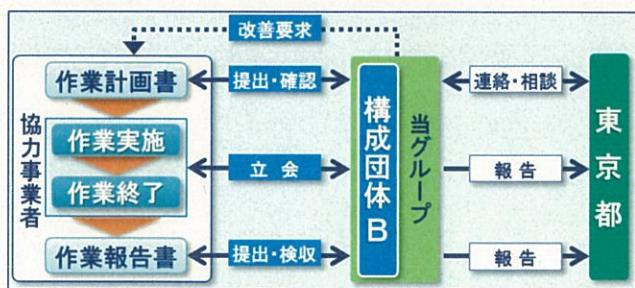


備品性能確認の 6 つの視点

### 4 業務の再委託

#### ■ 再委託業務のマネジメント

- ・自家用電気工作物保安管理等、高度な技術が必要とされる維持管理業務は、専門事業者の協力を得て対応し、厳格な管理指示のもと高い品質を確保することにより、安全・安心な施設環境の提供に努めます。
- ・事前に作業計画書の提出を求めて業務内容を把握し、打ち合わせを通じ、サービス品質や安全性、公共性を確保します。
- ・作業終了後は、作業現場のチェックを実施し、問題が無い場合は作業完了届及び作業・点検報告書の提出を求めます。
- ・作業報告書には必要に応じて作業前・作業中・作業後の写真を添付します。



再委託業務のマネジメントフロー

※再委託業務の一覧及び金額等につきましては、

提案課題 6 別紙 2 ⑤委託費（維持管理費等）の積算内訳をご参照ください。

事業者名・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ

## 提案課題 5 [施設の維持管理その他管理運営に関する業務]

### 1 施設、附属設備及び物品の維持管理

#### (2) 施設の修繕

老朽化と複雑な施設構造にも経験とノウハウを生かした修繕対応を実施

- 本施設を熟知した当グループにより施設の安定稼動を担保します。
- 保守・点検データの一元管理にITを活用して常駐設備員と構成団体B本社スタッフで共有・確認しながら予防保全を展開します。

#### 1 迅速な修繕と予防保全

##### ■ 修繕業務

###### (1) 業務の方針

- ・老朽化している施設が複数あるため、修繕、現状復旧作業が常態化しています。また、管制塔から各施設の様々なライフライン設備と連動している構造のため、故障の要因も非常に複雑なものとなっています。共同溝の配線や天井裏の配管を知り尽くした知識・経験のあるスタッフを配置することで、当グループでしかできない応急対策を実施します。
- ・修繕案件が発生した場合、まず第一に利用者が通常通り利用できるよう復旧作業で対応します。
- ・緊急度・重要度に応じた判断基準を定め、利用者からの要望事項・東京都との協議も踏まえながら柔軟に対応します。
- ・改修をはじめとした本施設の施工業者とのネットワークも構築されており、修繕内容によって施工業者と地元の業者を使い分け、対応できる体制を整えます。

###### (2) きめ細かな作業の実施

###### ① 作業日程の設定

- ・緊急時を除き、点検や修繕作業等の日程は、事前にグループ内及び東京都と調整します。特に、停電を伴う点検・作業は、業務に影響が出ないよう、事前周知の期間を十分に設けます。

###### ② 迅速な修繕作業

- ・設備保守業務は「予防保全」を前提に展開していきます。
- ・トイレやシンクからの漏水復旧や電球交換等の作業は迅速に対応します。特殊な交換部品等が必要となり復旧に時間を要する場合には、進行状況を掲示するなど、説明責任を果たします。
- ・修繕に必要な部品等を購入し、常駐設備員が直接作業を実施することで、迅速な対応と間接費用の縮減に努めます。

###### ③ 点検パトロール・設備点検の実施

- ・「安全チェックシート」を用いた点検パトロールを毎月実施します。複数の目で不具合箇所の発見に努め、必要性、優先順位について検討のうえ、修繕を実施します。
- ・これまで他の体育施設で発生した重大な事故を参考に、床のさざくれのチェックや軸体確認など、用具を含めてきめの細かい点検作業を実施してリスクを厳しく評価し、早めの補修、部品交換等の対応を行います。
- ・また、設備員の視点による危険箇所について、ハザードマップに記載していきます。

##### ■ 大規模改修及び東京都施工工事の対応

- ・工事日程等を早期かつ確実に把握して休館・休場日を適宜想定し、特に大規模大会等の優先性を精査しながら、調整を実施します。
- ・大規模改修工事においては、利用団体の意向、競技別の利用形態を熟知しているスタッフが周辺住民等の意見も踏まえ工事に反映できるよう、打ち合わせに参加します。
- ・作業に起因する音や振動等にも配慮して日程調整を行い、周辺住民への配慮と快適な利用環境の確保に尽力します。



## 提案課題 5 [施設の維持管理その他管理運営に関する業務]

### 1 施設、附属設備及び物品の維持管理

#### ■ 予防保全の展開

##### (1) 大規模修繕を抑制する仕組み

- 修繕期間の長期化や代替機能確保のための高額な費用、一時的な施設使用制限などの影響を生じさせないため、当グループでは、施設・設備の異常を早期発見して、突発的な不具合などの発生を未然に防止する「**予防保全**」を展開し、**大規模修繕の抑制**と**施設機能の保持**を図ります。

##### (2) 修繕計画の立案方法

- 日常点検や定期点検の記録、各種警報・故障・不具合の記録を残し、有効なデータとします。
- 収集したデータの解析を通じて**対象設備の機能・性能及び劣化状況等の詳細を把握**し、必要な修繕及び部品交換等の時期を整理して**日常の保全に立脚した修繕計画**を立案します。
- 使用状況、自然環境により加わった劣化状況とその原因を把握して、**故障出現の頻度予想**として活用します。

#### ■ 保守・点検データの一元管理

- 保守点検記録（日報・月報・機器運転データ・修繕・更新の実績等）、LCC情報（光熱水費・修繕履歴）、建物情報等を**一元管理**し、迅速かつ適切に、業務に反映させます。
- 建築物・設備機器等の修繕履歴を活用・分析し、計画的に建物設備の点検や部品交換などを実施することで機能及び性能を維持し、利用者に対する**安全衛生管理を徹底**します。

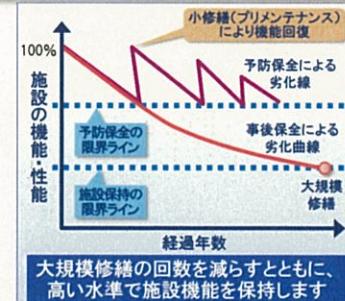
#### ■ これまでの修繕実績

- 代表団体Aでは、施設の長寿命化や利用者の利便性向上のために各種修繕工事を行ってきました。
- 指定管理料収支で利益が生じることが見込まれる場合は、これまでの実績と同様に施設の修繕・工事、備品の更新などの**利用者サービス向上策に還元**してまいります。

### 2 メンテナンス情報の共有・活用

#### ■ メンテナンス記録を情報資産として活用

- タブレットを活用して点検記録やトラブル対応等のメンテナンス情報を管理し、**修繕の傾向分析**を根拠とした**予防保全の展開**や**中長期修繕計画の提案**など、より一層のライフサイクルコスト縮減に貢献していきます。
- 利用者や東京都からの意見・要望も入力することで、**経過を関係者で共有**し、迅速に対応します。

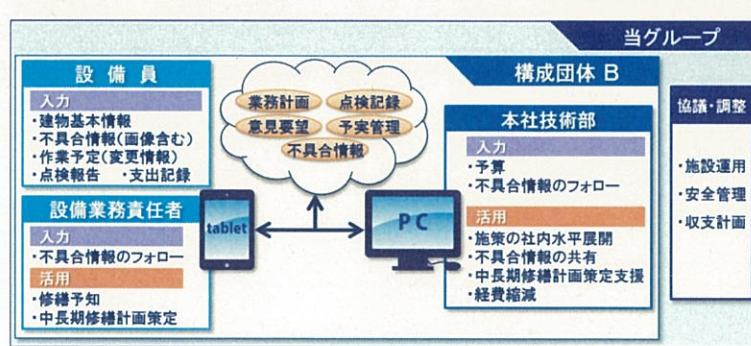


予防保全による施設機能維持



年度	実施内容	金額(千円)
平成29	・車いす席手摺り改造工事	
	・冷却塔修理	
	・冷水機更新工事	
ほか 合計 69 件		
平成28	・トレーニングルームスタジオ床工事	
	・冷却水ポンプ更新工事	
	・機械室ボイラー修理	
ほか 合計 59 件		

本施設における工事・修繕等の実績



事業者名・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ

## 提案課題 5 [施設の維持管理その他管理運営に関する業務]

### 2 その他管理運営に関する事項

#### (1) 危機管理及び災害対応

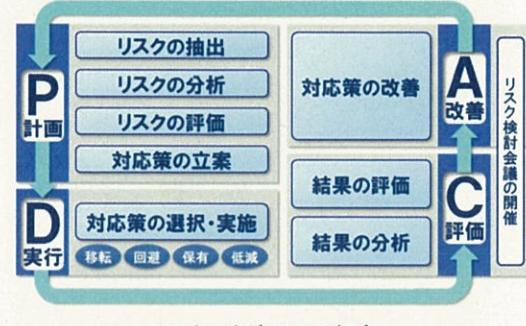
あらゆるリスクを想定し、迅速かつ適切に対応できる体制を整備します

- 業務における潜在リスクの抽出・分析・評価を行い、緊急事態に備えた危機管理体制を整備します。
- 消防署等と連携した防災訓練を実施することで、災害発生時には確実に機能する組織づくりを行います。
- 運営上のリスクを未然に防ぐ取り組みを展開します。
- 全スタッフが救命活動を行えるように普通救命講習の受講を義務付け、定期的な研修を行います。

#### 1 緊急事態に備えた危機管理体制の整備

##### ■ リスクマネジメントの徹底

- ・所長を「リスク管理責任者」として選任し、「実務担当者会議」など定期的な打合せを通じて、業務における潜在リスクの抽出と、分析・評価を行います。
- ・「リスクを最もよく管理できる者が、当該リスクを負担する」ことを原則に、グループ各団体でリスク分担を明確にし、迅速・適切に対応します。
- ・「東京都地域防災計画」に基づき、施設の特性に応じて「緊急時対応マニュアル」を随時更新し、非常連絡網の作成、避難通路の確保・表示、避難誘導・情報連絡方法などを明確化します。



リスクマネジメントの概念

#### 2 防災活動への積極的な取組

##### ■ 東京都地域防災計画に基づく対応

- ・本施設が災害等発生時における現地対策本部、物資の備蓄機能、医療救護スペース等の役割を担う可能性があることを十分認識し、業務にあたります。
- ・本施設が「東京都地域防災計画」に基づく「大規模救出救助活動拠点候補地（ヘリコプター離着陸候補地）」「医療機関近接ヘリコプター緊急離着陸場候補地」に指定されていることから「災害等対応マニュアル」を整備し、平常時から準備をします。
- ・本施設は、「東京都帰宅困難者対策条例」の「一時滞在施設」として指定されていることから、「都立施設を活用した一時滞在施設の運営マニュアル（東京都総務局総合防災部）」に基づき、代表団体Aが既に策定している「帰宅困難者のための一時滞在施設の運営」を準用し、適切に運用します。
- ・災害発生後、直ちに建物被害状況を把握し、施設内の危険区域の設定を行うことで、**二次災害を未然に防ぐ**とともに、現地対策本部や一時滞在施設としての機能確保に努めます。



防災ヘリ着陸訓練の様子

##### ■ 自衛消防隊の編成

- ・自衛消防技術認定証を有する施設の常勤スタッフによる自衛消防隊を組織します。
- ・自衛消防隊が確実に機能するために、公園協会を含めた全てのスタッフが参加する訓練や地元区や消防、警察等との合同で実施するテロ対策も含めた防災訓練を実施します。
- ・スタッフが玉川消防署主催の自衛消防活動技術大会に参加し、自衛消防隊の技量向上を図ります。
- ・「消防法」、「東京都火災予防条例」等の関係法令に基づき、「駒沢オリンピック公園総合運動場消防計画」を策定します。



消防・警察・自衛隊・医療機関との  
合同訓練の様子

##### ■ 発災時の対応

- ・災害発生及び事故・急病等の発生等の緊急時には、代表団体Aが既に策定している「災害対策要綱」及び「事故発生時報告等事務処理要綱」に基づき、所長に情報を集約し、東京都をはじめ関係機関への連絡・通報など、迅速な対応を行います。
- ・地元区、消防、警察等との日常の緊密な連携を生かし、発災時に適切な対応を行います。

## 提案課題 5 [施設の維持管理その他管理運営に関する業務]

### 2 その他管理運営に関する事項

#### 3 リスクを軽減または未然に防ぐための取組

##### ■ 事故・急病等に備えた保険の加入

- 「施設所有管理者賠償責任保険」(身体:1名7,000万円、1事故10億円、財物:1事故500万円)に加入し、万が一の事故等により、施設の利用者等に損害を与えた場合に備えます。
- 施設以外で事業等を実施する場合にも、個別にイベント保険等に加入し、不測の損害賠償請求に備えます。

##### ■ 自然災害への対策

- 自然災害に備え園内のハザードマップを作成し、大雨や台風襲来時には、対応マニュアルに沿って速やかに止水板を設置するなど、被害の防止に取り組みます。
- また、降雪時の再開の準備、メリケントキン草など利用者の怪我につながる雑草のいち早い駆除を実施するほか、熱中症やJアラート、光化学スモッグなど利用者に対する注意喚起を徹底します。

#### 4 研修等によるスタッフへの周知徹底ほか

##### ■ 全スタッフが、「救急・事故対応 携帯カード」を携行します。

- 緊急時に適切な対応が取れるよう、緊急連絡先、状況把握の方法から救急車の手配・誘導までを簡潔にまとめた「携帯カード」を作成し、全スタッフに常時携行させます。

駒沢オリンピック公園総合運動場  
救急・事故対応 携帯カード



携帯カードをスタッフが携行  
(代表団体実例)



消毒液を配置



災害対応自動販売機の設置  
(イメージ)

事業者名・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ

## 提案課題 5 「施設の維持管理その他管理運営に関する業務】

### 2 その他管理運営に関する事項

#### (2) 地球環境への配慮

「スマートエネルギー都市」を具現化するために、  
公共施設としての率先した環境配慮に努めます。

- 東京都の施策を踏まえた、LED 照明の導入や CO<sub>2</sub> 削減によって緑化の推進に取り組みます。
- ISO50001 認証の取得を提案し、指定管理期間後も見据えた中長期的取組みを展開します。
- 太陽光発電設備の導入による、再生可能エネルギーの推進に努めます。

#### 1 中長期的視点に立った環境配慮への取組み

##### ■ 積極的な環境施策の展開

- ・スマートエネルギー都市実現のため、省エネルギーの推進を図るだけではなく、中長期的な視点に立ち、公共施設として積極的なエネルギー・マネジメントの普及に努めます。

#### 2 環境配慮への具体的な取組

##### ■ 積極的な省エネ対策の実施

- ・都立スポーツ施設の指定管理者として、下記の省エネ対策に取り組みます。

区分	対策名称	検討内容
省エネ	エネルギー・マネジメント	<ul style="list-style-type: none"><li>・集中監視システムで各種エネルギー・データを系統別に時間単位で記録</li><li>・データを解析しエネルギー消費動向を把握</li></ul>
	熱管理	<ul style="list-style-type: none"><li>・負荷の平準化（温度時間の効率）、ヒートパターンの改善</li><li>・温度設定の見直し</li></ul>
	省電力	<ul style="list-style-type: none"><li>・LED 照明の導入</li><li>・電力契約の見直しと使用電力量の管理適正化</li></ul>
	節水	<ul style="list-style-type: none"><li>・節水型シャワー・ヘッドの導入</li><li>・散水としての雨水利用</li><li>・屋上緑化において水分保有量により散水調整する装置を設置</li></ul>
	省資源	<ul style="list-style-type: none"><li>・コピー用紙使用量の低減（裏紙の積極的な利用）</li></ul>
	省エネキャンペーン	<ul style="list-style-type: none"><li>・定期的にキャンペーンを展開し、目標数値を設定</li></ul>
	無駄の排除	<ul style="list-style-type: none"><li>・施設使用状況に応じた照明・空調の停止</li></ul>
廃棄物	排出量削減、リサイクル	<ul style="list-style-type: none"><li>・館内で回収したごみは集積所で再分別し、リサイクル率を向上</li><li>・利用者に対し、館内掲示により分別への理解を促進</li></ul>
調達	グリーン調達の徹底	<ul style="list-style-type: none"><li>・グリーン購入法に基づく商品や同法に沿って環境配慮がされている適合商品の購入を推進</li></ul>
植栽緑化	緑化推進	<ul style="list-style-type: none"><li>・敷地内の緑化推進</li></ul>
	環境配慮型薬剤	<ul style="list-style-type: none"><li>・除草剤、樹木の消毒液や清掃業務で使用する洗剤等に関しては、環境に配慮した製品を使用</li></ul>

省エネ対策の実施状況の一例

##### ■ 環境負荷低減の展開

###### (1) 太陽光発電の活用

- ・既に体育館・屋内球技場に導入している「太陽光発電設備」を活用することで、再生可能エネルギーを推進するとともに、発電した電力量を、モニターにて公開することで、利用者に対する環境意識の啓発に努めます。

###### (2) 二酸化炭素排出抑制に向けた取組

- ・ガソリン車からバッテリー車への更新など、東京都総量削減義務指針に基づいた CO<sub>2</sub> の削減と緑化の維持・推進に努めます。

###### (3) メンテナンス時の配慮

- ・作業時には節水を心がけるほか、焼却時にダイオキシン類を発生させやすい製品や、内分泌かく乱物質を含む製品の使用を避けます。
- ・冷蔵・空調設備等の機器廃棄時の有害物質の管理・回収に最大限の配慮を行います。

###### (4) 使用洗剤等の選定

- ・清掃に使用する洗剤や薬剤は環境への影響が少ないものとし、ワックス類は「製品安全データシート (MSDS)」の基準に即して選定・使用し、環境への影響に配慮します。
- ・洗浄剤、消毒剤、消臭剤は、盗難や誤使用のないように適切に管理します。また、害虫駆除の薬剤は極力人体への影響が少ないものを選定します。

## 提案課題 5 [施設の維持管理その他管理運営に関する業務]

### 2 その他管理運営に関する事項

#### (3) 個人情報の保護

##### 厳格な個人情報保護マネジメント体制を整備・運用します

- プライバシーマークを取得している団体として、自主的な個人情報管理を確立します。
- 採用時から退職後まで、個人情報に関する守秘義務の遵守を徹底します。
- 情報漏えい発生時には、代表団体 Aを中心に対応し、二次被害を防止します。
- 個人情報に配慮しながら、施設の管理運営に関する情報を適切に公開します。

#### 1 個人情報保護のマネジメント体制の確立

##### ■これまでの実績と本施設の管理体制

- ・代表団体 A 及び構成団体 B は、(一財)日本情報経済社会推進協会から **プライバシーマーク**を取得しており、2年ごとの更新認定を受けております。また、構成団体 C についても、代表団体 A と一緒に共同事業を通じて個人情報を管理しています。
- ・本施設においても、個人情報の取扱いを適切に行うため、「個人情報保護方針」、「個人情報保護規定」及び「個人情報保護要綱」を整備し、厳格な個人情報の管理体制を自主的に確立します。

##### ■本施設における個人情報の取扱い

- ・本施設では、氏名、生年月日、年齢、性別、住所、電話番号等の個人情報を取扱います。
- ・個人情報保護マネジメントシステムを確立し、各業務責任者が日常的に検証を重ねるとともに、法律・条例、規格等の改正に適切に対応するなど、**継続的な改善と適正な運用**を図ります。



#### 2 個人情報保護及び守秘義務を徹底するための取組内容

##### ■個人情報保護の具体的な取組み

区分	対応方法	内 容
物理的方法	管理の徹底	<ul style="list-style-type: none"><li>・事務所、倉庫等の鍵管理、入退室管理を徹底</li><li>・個人情報の外部への持出し（PC・USBメモリ等の媒体）の厳禁</li></ul>
	鍵付きロッカー	<ul style="list-style-type: none"><li>・書類（紙ベースの個人情報）管理は、鍵付きロッカー等で保管し、鍵の管理を徹底</li></ul>
	ワイヤーロック	<ul style="list-style-type: none"><li>・パソコンの盗難防止対策としてワイヤーロックを設置</li></ul>
	廃棄時の対策	<ul style="list-style-type: none"><li>・パソコン等、記憶媒体を廃棄する際は、物理的に破壊し、確実に処分</li></ul>
技術的方法	システム強化	<ul style="list-style-type: none"><li>・ウイルスの侵入及び不正アクセスによる情報漏えいの防止を徹底</li><li>・個人情報を格納するサーバーのバックアップを定期的に実施</li><li>・不正ソフトウェア対策を実施</li></ul>
	データの暗号化	<ul style="list-style-type: none"><li>・インターネットや LAN ネットワークについて、データの暗号化</li></ul>
	個人情報アクセスの規制	<ul style="list-style-type: none"><li>・個人情報へのアクセスは、取扱う必要があるスタッフに制限</li><li>・個人情報管理責任者による厳格な監督</li></ul>
	アクセスログ設定	<ul style="list-style-type: none"><li>・データベースで「アクセスログ」を記録</li></ul>

個人情報を保護するための対応方法

##### ■守秘義務を徹底するための取組み

- ・全スタッフがその重要性を認識するため、新規採用時には個人情報保護に関する研修を受講させるほか、**定期研修及び内部監査を実施**します。
- ・「就業規則」に則り、退職後も含めた守秘義務の遵守を徹底します。

##### ■個人情報漏えい時の処置

- ・個人情報漏えいが発生した場合は、「個人情報保護規程」に従い、適切かつ迅速に対応します。
- ・個人情報の漏えい、滅失またはき損が発生した個人情報の内容は、本人に速やかに通知します。
- ・二次被害の防止のため、事実関係、発生原因及び対応策を、遅滞なく公表するとともに、東京都及び関係機関に報告します。

#### 3 情報公開について

- ・「情報公開条例」及び代表団体 A が定める「情報公開要綱」に基づき、適切かつ積極的な情報公開に努めます。

事業者名・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ

## 提案課題 6 [収支計画]

### ○ 指定期間中の収支の考え方

「スポーツ都市東京」の実現のため、欠かすことの出来ない業務を適切に行うとともに、利用者ニーズを捉えたサービス提供によって増収を図り、収益を確保します

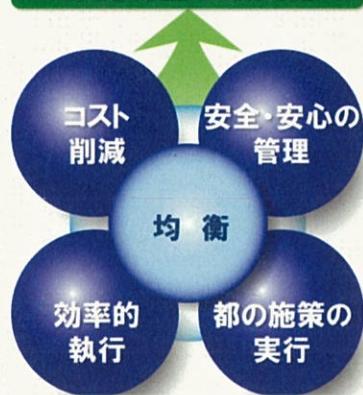
- 安全・安心な運営を行うために、欠かすことの出来ない措置を行います。
- 安定的な収益の確保とコスト削減を図り、指定管理料の縮減に努めます。
- 公益性を確保し、アマチュアスポーツの振興に努めます。
- 計画以上の増収となった場合、管理運営費やスポーツ事業運営費に充当します。
- 収支赤字が発生した場合でも、グループ全体で補填し、責任を持って管理運営に当たります。

#### 1 収支計画作成にあたっての基本的な考え方

##### ■ コスト削減と安全・安心とのバランス

- ・コスト削減と効率的な執行により、指定管理料を圧縮することが都民負担軽減の上で非常に重要なテーマと認識しています。経費の執行に当たっては、費用対効果に鑑み民間のノウハウを生かしながら最大限の経費削減を図ります。他方で、施設を安全・安心に利用できるよう万全の体制を整え、老朽化が進行している施設をできる限り延命維持していくことが極めて重大な課題となっています。また、新旧施設それぞれの特性や利用団体特有の状況に合わせ、緻密な配慮を行い、整備・運用を行っていくことも重要な責務です。
- ・また、これらに加え「東京都スポーツ推進総合計画」をはじめとする東京都が推進する施策を具現化していくことが指定管理者の重要な使命です。そのために必要な予算措置を行います。

##### 都民利益の最大化



収支計画の基本的な考え方

##### ■ 安全・安心を基本とした適切な維持管理や修繕

- ・開所から半世紀以上の年月が経過し、各施設の中には一度も更新されていない設備・機器等、老朽化が著しいものも少なくありません。こうしたものは、各所で日々不調を来ており、日常的に予防保全や緊急修繕を行っていく必要があります。
- ・また、新たに改築された施設においては、新たな施設ならではの様々な課題やトラブルが想定されますが、一つ一つ適切に対応し、安定した稼働に向けて取り組んでくことも必要です。
- ・こうした施設でも、安全・安心に運用を継続させることが求められることから、決して外すことのできない専門的スタッフの配置や頻繁に発生する工事・修繕対策等に柔軟に対応していく必要があります。これら、それぞれの特性に合わせた対応に必要な経費については、適切な予算措置を行い、着実に実行します。

##### ■ 支出抑制とパフォーマンスの維持

- ・初度調査等、高額物件や大量に物品購入が必要になる場合は、入札や見積競争を行う等、調達単価の低減を図ります。
- ・備品については、東京都と協議の上、当グループ構成員が管理する備品の再利用や一時的に必要となる大型備品については都立スポーツ施設間での相互貸し出しを検討し、初期費用を抑制します。
- ・委託業務においても、競争性を確保し、費用削減を図るとともに、構成団体Bによる高度で専門的な民間のノウハウを最大限生かし、低コストで高品質なサービスを提供します。

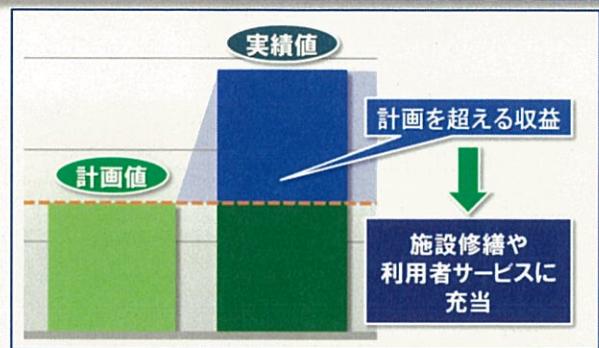
##### ■ 収益確保への取組

- ・これまでの管理運営実績の中で、利用団体との綿密な調整や利用促進等、不断の努力の蓄積により、毎年稼働率高めてきました。これらの蓄積されたノウハウを生かすとともに、当グループ構成員が管理する他の施設と緊密な調整を図ることで、この高い稼働率を堅持し、安定的な収入を維持します。
- ・また、前述したトレーニングルームにおいても、一つ一つ改善を重ねて、ひとりひとりの利用者ニーズを的確に掴み、利用者数が増え、多くの都民に利用される施設になりました。今後とも、これまで以上に都民に愛される施設を目指すとともに、収益拡大を目指します。

## 提案課題 6 [収支計画]

### ■ 収益の取扱い・公益への還元

- ・公益法人である代表団体 A が収益業務のスキームを担うことにより、計画を上回る収益が上がった場合でも予算全体の調整を図り、構成団体各社の売上にそのまま繰り入れず、**管理運営経費等に充当**します。
- ・これらの充当先として、**老朽化した施設の修繕費**、利用者のサービス向上を目的とした経費の他、東京都の方針等を踏まえ、**スポーツ事業運営費等**に充てます。



収益の取扱いと公益還元

### ■ 「東京都スポーツ推進総合計画」の推進と東京 2020 大会成功に向けた公益性の確保

- ・東京都の監理団体である代表団体 A が各施設の優先受付業務を担い「東京都スポーツ推進総合計画」に合致するよう調整を行う事により、当面の利益の確保ではなく**「公益性」**を重視し、**スポーツ振興に寄与**します。
- ・東京 2020 大会に係る準備等、最大限協力を行ってまいります。また、他施設が東京 2020 大会に伴う改修工事等を行う中、各利用団体は深刻な**スポーツ施設不足に窮**しています。そうした中、収益性は低くても、各競技団体が東京 2020 大会に向け実施する大会を誘致することにより、**東京 2020 大会の成功に寄与**します。
- ・1964 年大会のレガシー会場というブランド力を十分に生かしつつ、継続的に改善を図ります。そして、この場所に集うアスリートや都民ひとりひとりが紡ぎ出すドラマと、ライフステージの記憶・感動が再燃し、“アマチュアスポーツの聖地”としてのプレゼンスを再確立させます。
- ・障害の有無や年齢・性別・国籍を問わず、誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも**スポーツを楽しめる環境**を構築するために必要な整備を行います。
- ・あわせて、単に施設の管理運営に終始するだけでなく、広く地域を巻き込んだ多彩な事業展開や利用者ニーズを的確に捉えることで、スポーツクラスターとして今まで以上に駒沢地域全体が活性化し、**スポーツ・レクリエーションを楽しむ一大拠点へと進化**させます。そして**「スポーツ都市東京」の未来**を正にこの「駒沢オリンピック公園総合運動場」より実現します。

## 提案課題 6 [収支計画]

### 2 指定管理料増額の抑制について

#### ■ 固定経費増を収入計画の増加を充てることにより抑制

#### (1) 与件の整理

#### (2) 施設追加等による確実な経費増

- ・屋内球技場・第一球技場新規開設、硬式野球場リニューアルによる経費増  
　　シングルーム利用者増に伴いポスト数を増やし経費　　を増 (収入は　　、トレーニ  
　　が確実に必要とされる経費増となります。　　増)。合計

#### (3) 経費増の抑制

- ・今回の提案では、これまでの経営努力等により、体育施設利用料収入増　　(団体利  
　　用　　、個人利用　　)、利用者サービス事業からの繰入額増　　。合計　　を  
　　収入増として計上しています。
- ・以上の増減額に、それぞれ今回の提案を確実に実施するための経費増がありますが、大幅な必  
　　要経費増を収入増加策によって抑制した提案額としています。

### 3 支出計画について

#### ■ 支出計画策定に当たっての視点

- ・施設運営において経常的に発生する費用については出来る限り縮減するとともに、重要行事や  
　　安全・安心な運営を行うために必要な経費、老朽化施設の修繕費等欠かすことの出来ない経費  
　　については適切な予算措置を行います。

#### ■ 具体的な経費支出

##### (1) 人件費

- ・専門家集団が施設を運営します。専門知識とノウハウを有した正規職員を適切に配置し、責任  
　　体制を整え、業務品質を維持します。
- ・電気設備・ボイラー・機械設備等の建物維持管理には、本施設や他の大規模施設で経験を積ん  
　　だ熟練のスペシャリスト等を適切に配置し、安全・安心の施設運営を確保します。
- ・維持管理業務総括責任者を配置し、それぞれ性質の異なる多くの施設を保有する総合スポーツ  
　　施設として、多岐にわたる維持管理業務を一体的に統括管理します。
- ・窓口業務担当には、本施設の運営を熟知したスタッフを配置します。担当スタッフには接遇研  
　　修やAED研修等、各種研修を行い、様々な事象に的確に対応できる体制を確保します。

事業者名・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ

## 提案課題 6 [収支計画]

- ・警備業務では、施設毎に個別で警備を行うのではなく公園全体を一体として警備することで、園内全体の治安維持による事件・事故を未然に防止し、業務の効率化と費用削減を図ります。
- ・法令遵守のもと、施設全体でのシフト調整や配置の工夫、契約職員の効果的な活用、ライフ・ワーク・バランスなどの働き方改革を進めることにより、効率的な職員配置を行い、費用削減を図ります。

### (2) 消耗品費等

- ・稼働年数が長期に渡っている設備については、設備更新の予定時期まで運用を停止させないため、**製造中止となる部品等を事前に確保**します。
- ・物品については、東京都と協議の上、当グループ構成員が管理する物品の再利用や一時的に必要となる大型物品については相互貸出しを検討します。また、新規購入の際は、リースやレンタルを活用することにより、費用を均一化します。

### (3) 光熱水費

- ・利用状況に見合ったエネルギー管理、**きめ細かい運転抑制**等による省エネルギー管理などを行うことにより、光熱水費の縮減を図ります。

#### ① 水道

- ・植栽の維持等に雨水、日照センサー、降雨センサー等を活用することにより水道使用量を削減します。

#### ② 電気

- ・太陽光発電や照明のLED化を行い、電気使用量を削減します。

#### ③ ガス・燃料

- ・データ解析によりエネルギー消費行動を把握し、きめ細やかなエネルギー管理を行います。また、作業車をバッテリー車に更新するなど、環境にも配慮した運用を図ります。

### (4) 委託費

#### ① スポーツ施設運営に係る専門スタッフの配置

- ・安全・安心に施設を利用していただくために、長年の運営実績がある、パートナー企業の専門スタッフが常駐し、利用団体の大会運営等を全面的にサポートします。

#### ② トレーニングルームスタッフの配置

- ・パートナー企業の専門スタッフがきめ細やかな配慮を行い、魅力的なプログラムとサービスを提供します。長い時間をかけて地域住民を始めとする利用者との信頼関係を構築してきました。サービス向上を図ることでさらに進化させます。

#### ③ 清掃スタッフの配置

- ・清掃業務には、通常の日常清掃や定期清掃だけでなく、利用状況に合わせて巡回清掃を行い、清潔で心地よい空間を保ちます。

#### ④ 大型映像装置スタッフ

- ・不具合の発生等が多い大型映像装置に対して、大会運営時に専門スタッフを配置します。

#### ⑤ スケールメリットによる経費削減

- ・管理が分かれる公園との一体管理により費用削減を図ります。また、他管理施設での経験を踏まえ、さらに効率的な仕様の見直しによる契約金額の低減化を図ります。

### (5) 修繕・工事費

#### ① 施設の緊急修繕

- ・安全・安心な施設管理を行っていくため、必要な措置を行い、老朽化した施設をできる限り延命維持します。老朽化した施設を長期的な視点に立って安全・安心に維持管理していきます。

#### ② 人工芝の補修

- ・第二球技場や補助競技場については、申込みの希望が多く稼働率が極めて高いことから、人工芝の損傷が頻繁に発生しています。このことから安全・安心に利用していただくために追加措置として年間数回の人工芝補修を行います。



きめ細かなエネルギー管理で  
光熱水費を縮減

## 提案課題 6 [収支計画]

### (6) 貸借料

- リース物品については、東京都と協議の上、当グループが管理する物品の再利用や一時的に必要となる大型備品については相互貸し出しを検討します。

## 4 収入計画について

### ■ 収入計画作成に当たっての考え方

- ノウハウを最大限生かし、高い施設稼働率を維持し、安定的な収益を持続します。
- 利用者ニーズに沿ったサービスの提供や事業内容の充実、広報PRの積極的な展開により、利用者を増やし、収益拡大を図ります。
- 自主事業及び利用者サービス事業の収入は全額繰入れ、指定管理料の縮減を図ります。

### ■ 具体的な収入計画について

#### (1) 施設利用料収入

- 重複し複雑に絡み合う施設利用希望を、緻密な調整により、高い稼働率を堅持し、施設の有効活用と安定的な収入を維持します。
- トレーニングルームは利用者ニーズに沿った整備やサービス提供を行うことにより、個人利用者数増を目指します。

#### (2) 利用者のサービス充実による增收

- 主催者のニーズに合わせた駐車場の貸出しや余剰スペースの開放等を行い、增收を図ります。
- トレーニングルームの個人用ロッカーや自動販売機でのアイスクリームやスナックの販売など利用者ニーズに即した商品販売を行うことで、管理手数料の增收を目指します。
- 各所に自動販売機を設置し、環境整備とともに、管理手数料による增收を図ります。
- 都内有数の総合スポーツ施設と公園の恵まれたロケーションという特徴を生かし、テレビ番組の撮影など、映像制作等の撮影を誘致し、地域の活性化との相乗効果を図ります。

## 5 損失又は利益が発生した場合

### ■ 公の施設の指定管理者としての責任を持った運営

- 損失が生じた場合は、グループ全体で赤字分を補填し、指定管理期間は責任を持って管理運営にあたります。
- 指定管理料収支で利益が生じることが見込まれる場合は、施設の修繕・工事、備品の更新などの利用者サービス向上策に還元していきます。
- これまでの実績のとおり修繕等を行います。

年度	実施内容	金額(千円)
平成29	・車いす席手摺り改造工事	
	・冷却塔修理	
	・冷水機更新工事	
平成28	ほか 合計 69 件	
	・トレーニングルームスタジオ床工事	
	・冷却水ポンプ更新工事	
	・機械室ボイラー修理	
	ほか 合計 59 件	

本施設における工事・修繕等の実績

## 6 法・条例等に則した執行体制

### ■ 最低賃金制度の遵守等

- 「働き方改革実行計画」が推進されているなか、本計画においても、法や条例、施策、社会状況を反映させていくとともに、グループ各団体及び委託先の最低賃金遵守や適切な費用積算を反映させてまいります。

### ■ 環境への配慮

- 「東京都グリーン購入推進方針」を遵守し、価格・機能・品質だけでなく、環境への負荷ができるだけ少ないものを選択して購入します。
- 都民の健康と安全を確保する環境に関する条例の規定に基づき、環境により良い自動車利用を遵守します。

### ■ 暴力団排除

- 物品の購入や業務委託等、契約の際は「東京都契約関係暴力団等対策措置要綱」を遵守し、暴力団等反社会勢力を排除し適正な契約事務を執行します。

## 提案課題6 別表 指定管理期間中の収支計画

### (1) 支出の計画

項目		31年度	32年度	33年度	34年度	合計	内容	備考
人件費	正規職員							
	臨時職員						アルバイト、派遣職員、非常勤職員等	別紙1積算内訳①
	人件費 計(A)							
	光熱水費						電気・ガス・水道・燃料	別紙1積算内訳②
	消耗品費等						消耗品、備品、印刷製本、原材料等	別紙1積算内訳③
	役務費						電話・通信・運搬費等	別紙1積算内訳④
	委託費（維持管理費等）						設備保守・清掃・警備・その他業務委託等	別紙1積算内訳⑤ 及び別紙2委託費内訳
	修繕費・工事費						リース料等	別紙1積算内訳⑥
	賃借料						諸謝金・旅費交通費・その他経費	別紙1積算内訳⑦
	その他							
	小計							
間接費							管理運営に伴う本社等の経費（人件費を含む。）	
	合計							
消費税								
	管理運営費 計(B)							
事業費								
間接費							スホーツ振興事業運営に伴う本社等の経費（人件費を含む。）	事業計画書 3-1-(1) [スホーツ振興事業]
	合計							
消費税								
	スホーツ振興事業費 計(C)							
支出合計(D=A+B+C)								

(2) 収入の計画

		項目			内容			備考	
		31年度	32年度	33年度	34年度	合計			
理費管運	体育施設利用料金						専用・個人の施設利用料金、自主事業の施設利用料金	別紙1積算内訳⑨	
	その他						預金利子、利用者サービス事業に伴う光熱水費等	別紙1積算内訳⑩	
	管理運営費計(Е)								
	参加料								
事務費事	その他						事業計画書 3-1-(1) [7ホーヴ振興事業]		
	スボーツ振興事業費計(F)						協賛金等		
	その他(G)								
	収入合計(H=E+F+G)						自主事業及び利用者サービス事業からの繰入額	事業計画書 3-1-(2)(3)	

(3) 都からの委託料

		項目			内容			備考	
		31年度	32年度	33年度	34年度	合計			
都からの委託料(D-H)		535,857	535,857	535,857	535,857	535,857	2,143,428		

※ (参考) 自主事業及び利用者に対するサービス提供事業の収支 (積算内訳は事業計画書3-1-(2)(3))

		項目			31年度			32年度			33年度			34年度		
		収入	支出	差引	収入	支出	差引	収入	支出	差引	収入	支出	差引	支出	差引	
自主事業																
利用者に対するサービス提供事業																
合計																

## 提案課題6 別紙1 収支計画の積算内訳

### (4) 収支計画の積算内訳

(金額等の数字は収支計画の記入金額と整合させてください。)

#### ① 人件費積算内訳

単位：千円

--	--	--	--	--	--

#### ② 光熱水費積算内訳

単位：千円

項目	31年度	32年度	33年度	34年度	合計
電気代					
ガス代					
水道代					
燃料代					
合計					

#### ③ 消耗品費等積算内訳

単位：千円

項目	31年度	32年度	33年度	34年度	合計
什器備品費					
消耗品費					
印刷製本費					
新聞図書費					
合計					

#### ④ 役務費積算内訳

単位：千円

項目	31年度	32年度	33年度	34年度	合計
通信運搬費					
保険料					
手数料					
合計					

#### ⑤ 委託費（維持管理費等）積算内訳

単位：千円

項目	31年度	32年度	33年度	34年度	合計
内訳は提案課題6 別紙2「⑤委託費（維持管理費等）積算の内訳」のとおり					

#### ⑥ 工事請負費・修繕費積算内訳

単位：千円

項目	31年度	32年度	33年度	34年度	合計
修繕費					
工事請負費					
合計					

⑦ 貸借料積算内訳

単位：千円

項目	31年度	32年度	33年度	34年度	合計
トレ券売機					
トレ機器賃借①					
トレ機器賃借②					
写真判定装置					
テニスコート券売機					
競技表示盤					
トレーニングルームロッカー					
A E D					
印刷機					
シュレッダー					
弓道場券売機					
貴重品ロッカー					
弓道場看的板					
予約システム賃借					
予約システム委託					
合計					

⑧ 管理運営費・その他支出積算内訳

単位：千円

項目	31年度	32年度	33年度	34年度	合計
会議費					
旅費交通費					
租税公課					
諸会費支出					
雜支出					
合計					

⑨ 体育施設利用料金収入積算内訳

単位：千円

項目	31年度	32年度	33年度	34年度	合計
陸上競技場					
屋内球技場					
体育館					
第一球技場					
第二球技場					
テニスコート					
補助競技場					
軟式野球場					
硬式野球場					
弓道場(団体)					
陸上(会議室)					
弓道場					
トレーニングルーム					
合計					

※ ⑨体育施設利用料金収入の積算補足資料

⑩ 管理運営費・その他収入積算内訳

単位：千円

項目	31年度	32年度	33年度	34年度	合計
受取光熱水費					
雑収入					
合計					

## 提案課題6 別紙2 ⑤委託費（維持管理費等）の積算内訳

分類	作業の種類	金額(円)	備考
1. トレーニングルーム運営業務			
2. 体育施設の運営業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設管理業務</li> <li>・利用者サービス業務</li> <li>・主催事業業務</li> <li>・グラウンド等整備業務</li> <li>・メモリアルギャラリー業務</li> </ul>		
3. 集金業務・両替金配金業務			
4. 陸上競技場認定品の点検			
5. 補助競技場・第二球技場 人工芝点検保守			
6. 清掃業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常清掃（スタンド清掃含む）</li> <li>・定期清掃（スタンド清掃含む）</li> <li>・体育施設照明器具清掃</li> </ul>		
7. 害虫駆除業務			
8. 電気設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高圧変電設備点検</li> <li>・蓄電池設備点検</li> <li>・構内電話交換設備保守点検</li> <li>・体育館アリーナ音響設備保守点検</li> <li>・体育館他ITV設備保守点検</li> <li>・電気時計設備保守点検</li> <li>・体育館大型ディスプレイ設備保守点検</li> <li>・陸上競技場大型映像設備保守点検</li> <li>・硬式野球場、第二球技場電光表示板設備保守点検</li> <li>・体育館、屋内球技場照明制御装置設備保守</li> <li>・園内外灯器具清掃</li> </ul>		
9. 機械設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・陸上競技場ボイラー等保守点検</li> <li>・体育館・屋内球技場冷温水発生機保守点検</li> <li>・空調設備及び陸上競技場冷凍機設備保守点検</li> <li>・乗用昇降機設備保守点検</li> <li>・管制塔加圧送水設備保守点検</li> <li>・循環ろ過機他保守点検及び公園流水池機械運転</li> <li>・ビル衛生空気環境測定</li> <li>・管制塔受水槽、雑用水槽清掃</li> <li>・污水管、污水雑排水槽清掃</li> <li>・水質検査</li> <li>・管制塔池清掃</li> <li>・シャッターポート点検</li> <li>・体育館バトン昇降機点検</li> <li>・体育館高所作業用昇降機点検</li> </ul>		
10. 監視制御設備	・中央監視制御装置及び自動制御設備保守点検		
11. 防災設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防用設備及び拡声設備保守点検</li> <li>・自家発電機設備保守点検</li> </ul>		
12. 建築設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動扉設備保守点検</li> <li>・建築物等定期点検</li> </ul>		
13. 機械警備設備	・建物等機械監視		

## 提案課題6 別紙2 ⑤委託費（維持管理費等）の積算内訳

分類	作業の種類	金額(円)	備考
14. スポーツターフ・樹木等 維持管理業務	(1) 芝生フィールド等保護管理		
	(2) 樹木剪定・除草		
	(3) 花壇等管理		
	(4) 屋内球技場屋上緑化年間維持管理		
15. 防火対象物等点検			
16. 冷水器点検			
17. 室外機洗浄			
18. 緊急対応経費			
19. 資料調査・整理			
20. 体育館アリーナリフター 点検			
21. 体育の日記念事業運営業務			
計			

※1 本計画書の作成に当たっては、収支計画書との整合を図ってください。

※2 積算に当たり、作業項目の追加・修正や作業頻度の変更を提案する場合等補足説明を要する場合は、別紙補足説明書に具体的な考え方や理由を記入してください。

※3 設備等の維持管理業務について、業務委託によらず指定管理者が実施し、委託費がかからない場合は、備考欄に実際にかかる経費を記載してください。

※4 作業項目の追加、修正等を行う場合は、本表を適宜修正してください。